

三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等 評価結果

【目次】

1 概要

1 ページ

2 三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策 評価結果

施策 No.	重点施策 名称	ページ
1	農業、漁業、観光業の連携による観光振興	3 ~ 6
2	経営支援・企業誘致	7 ~ 10
3-1	水産業・農業・商工サービス業の振興（水産業関係）	11 ~ 14
3-2	水産業・農業・商工サービス業の振興（農業関係）	15 ~ 18
3-3	水産業・農業・商工サービス業の振興（商工サービス業関係）	19 ~ 22
4	ライフステージ・ライフスタイルに応じた多様な居住の促進	23 ~ 26
5	子育て世代の経済的負担軽減	27 ~ 30
6	子育て世代のワークライフバランスの推進	31 ~ 34
7	出会いの創出	35 ~ 38
8	三浦らしい海洋教育の実践	39 ~ 42
9	市民の健康や体力の増進策	43 ~ 46
10	介護予防と見守り	47 ~ 50
11	市有財産の適切な管理運営	51 ~ 54
12	空き家対策	55 ~ 58
13	中心核交流機能の育成	59 ~ 62

3 地方創生関連交付金事業 評価結果

事業 No.	事業名称	ページ
1	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業	63 ~ 66
2	みうら・みさき海の駅“うらり”交流拠点整備事業	

1 概要

(1) 三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策 評価結果概要

平成30年度に実施した三浦みらい創生プラン（総合戦略）の重点施策（基盤整備のための重点施策14, 15を除く。）について、下記の基準に基づき内部評価及び三浦市総合計画審議会において外部評価を実施した。

評価			評価結果（施策数）	
評価判定	基準1	基準2	内部評価	外部評価
	K P I 達成状況	課題改善の取組状況		
5	目標達成しています。	全部達成 ○	—	2施策 2施策
4	目標は、一部達成し、課題改善の取組も明確です。	一部達成 △	明確 ○	3施策 3施策
3	目標は、全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	全部未達成 ×	明確 ○	10施策 10施策
2	目標は、一部達成しましたが、課題改善の取組は不明確です。	一部達成 △	不明確 ×	0施策 0施策
1	目標は、全て未達成で、課題改善の取組も不明確です。	全部未達成 ×	不明確 ×	0施策 0施策
			計	15施策 15施策

(2) 地方創生関連交付金事業 評価結果概要

平成29年度及び平成30年度に地方創生関連の交付金を活用した2事業について、国に提出する効果検証結果報告様式の基準に基づき内部評価及び三浦市総合計画審議会において外部評価を実施した。

評価		評価結果（事業数）	
評価判定	評価の例	内部評価	外部評価
4	地方創生に非常に効果的であった	全てのK P I が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	0事業 0事業
3	地方創生に相当程度効果があった	一部のK P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	0事業 0事業
2	地方創生に効果があった	K P I 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	2事業 2事業
1	地方創生に対して効果がなかった	K P I の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合	0事業 0事業
		計	2事業 2事業

基本目標	基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようにする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。	数値目標	個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R02目標値】16,400人 ----- 【H28実績】16,997人 【H29実績】17,014人 【H30実績】16,877人
	市内に市が関与して新たに創出する雇用者数【R02目標値】150人 ----- 【H28実績】0人 【H29実績】4人 【H30実績】107人		

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
1	<p>農業、漁業、観光業の連携による観光振興や三浦ブランドの開発など、市内外の事業者の取組みや、異業種間の交流を支援し、6次経済の構築を進めます。</p> <p>市外での物産展出展や市内での各種イベントの開催等のシティ・セールス実践活動により三浦市の魅力を発信するとともに、集客力をさらに向上させます。</p> <p>もてなしをテーマとする人材育成や市民活動を促進し、もてなしの活動に協力・参加している市民を増やします。</p> <p>観光施設、回遊ルート、観光案内表示板等の集客に必要な環境や、駐車場や公衆トイレ等の便利で快適な環境を適切に維持・向上させ、集客力をさらに強化します。</p>	2019	R01																												
具体的な施策	<p>入込観光客数、観光客消費額を増加させ、観光の産業化・雇用創出を図るため、神奈川県「新たな観光の核づくり」認定構想の推進組織である「新・観・核推進協議会」への事業実施支援、各種イベント実施（三浦国際市民マラソン、みうら夜市、海の駅うらりを活用したイベントなど）、インフラ整備（観光解説板整備、うらりウッドデッキ張替工事補助）などを行います。</p> <p>また、神奈川県が推進する三浦半島魅力最大化プロジェクト等とも連携します。</p>	<p>評価担当部課</p> <p>経済部（営業開発課・観光商工課・水産課）</p> <p>政策部（市長室）</p> <p>総務部（財産管理課）</p>																													
事業名	<p>みうら誘客プロモーション事業 ウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会事業 観光団体育成事業 地場産品消費拡大対策事業 みうら夜市事業 地域観光振興・情報発信事業 観光解説板整備事業 インフォメーションセンター管理事業 三浦国際市民マラソン事業 三浦市東京支店事業 新たな観光の核づくり推進事業 三崎下町地区駐車場対策事業 みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション事業 ラッピングバス導入事業（※H29で事業終了）</p>	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f2f2f2;">年度</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">105,716</td> <td style="text-align: center;">96,430</td> <td style="text-align: center;">91.2%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">127,316</td> <td style="text-align: center;">123,155</td> <td style="text-align: center;">96.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">70,923</td> <td style="text-align: center;">65,899</td> <td style="text-align: center;">92.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R01</td> <td style="text-align: center;">76,950</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">380,905</td> <td style="text-align: center;">285,484</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	105,716	96,430	91.2%	H29	127,316	123,155	96.7%	H30	70,923	65,899	92.9%	R01	76,950			R02				計	380,905	285,484	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	105,716	96,430	91.2%																												
H29	127,316	123,155	96.7%																												
H30	70,923	65,899	92.9%																												
R01	76,950																														
R02																															
計	380,905	285,484	/																												

内部評価（1次評価）

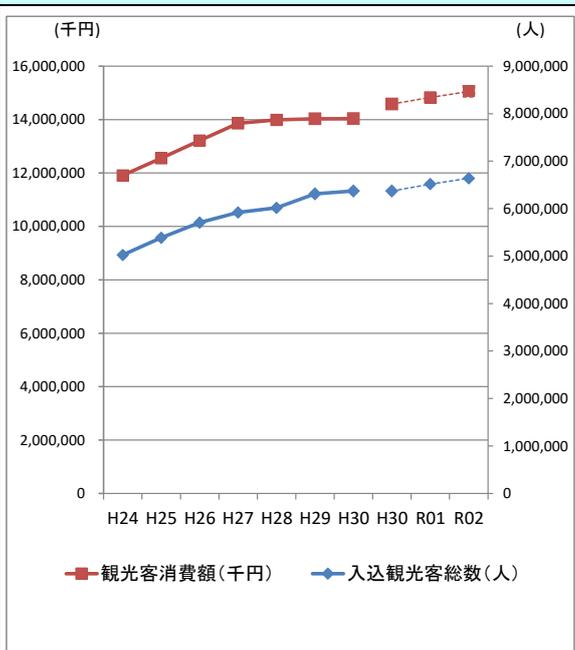
既存の観光イベント等の集客力を高めるとともに、各観光施設等を起点とした回遊性の向上及び滞在時間の延長に向けた取組により、K P I 達成とリピーターの獲得に努めた。

- (1) みうら誘客プロモーション事業
 - ・教育旅行誘致については、旅行会社等への継続的な営業を行った。方面としては、これまでに多くの実績のある北関東、長野、愛知、北海道エリア等への営業を実施し、送客に向けた更なる掘り起こしを図るとともに、本市への実績は殆ど無いものの、関東地方への実績が多くある東北地方への営業を実施し、新規エリアの開拓も行った。
 - ・平成30年度は、127校、約11,400人の生徒を受け入れた。（正式予約以外のホテル等を含む。）
 - ・国内ツアー誘致については、「みうら夜市」や「三浦海岸桜まつり」等を対象としたツアー企画の営業を行った。
 - ・また、滞在時間の延長が図れるよう、桜まつりを見学した後、民宿の料理を召し上がっていただき、うらりでお土産の購入をしていただけるようなツアーの営業を行った。
 - ・インバウンド誘致については、他自治体や民間事業者等との協働連携により、旅行会社等に対し継続的な営業を行った。
 - ・平成30年度は、三浦半島観光連絡協議会及び富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会と連携し、台湾で行われた国際旅行博においてシティセールスを実施したほか、旅行会社に対してセールスコールを実施した。
 - ・また、SNSで発信力のあるインフルエンサーを対象としたモニターツアーを実施した。
 - ・さらに、「みうら夜市」や「三浦国際市民マラソン」において、英語版のチラシの作成や、英語対応ボランティアの配置等にも取り組んだ。
- (4) 地場産品消費拡大対策事業
 - ・三浦市地場産品消費拡大協議会と協働し、13回にわたり物産展等において三浦市の特産品のPRや三浦市に関する情報を発信し、効果的なみうらファンの獲得に努めた。
 - ・また、そのうちの物産展等において三浦に関するアンケートを実施し、三浦市の認知度や三浦を訪れた際の満足度などを調査することで、今後の誘客プロモーションに対する参考とした。
- (5) 三浦国際市民マラソン事業
 - ・平成31年3月に開催した第37回大会では、ミズノ株式会社に特別協賛企業としてご協力をいただき、参加ランナーに配布する記念Tシャツやスタッフが着用するジャンパーを特別協賛価格でご提供いただいた。
 - ・また、スペシャルゲストの柔道・鈴木桂治さんに、大会前日、市内の小・中学生を対象とした柔道教室を開催していただいた。
 - ・さらに、ランナーへのホスピタリティの向上を目的に、三浦のたくあんを会場及びエイドステーションで提供した。
 - ・このほか、国土舘大学体育学部スポーツ医科学科の学生と連携し、安心・安全な大会に向けた取組も実施した。更に、誘客プロモーション事業の欄で述べた補足となるが外国人ランナー獲得を目指し、アメリカ海軍横須賀基地の広報担当の協力を得て基地内のSNSへの掲載や英語版チラシの配布を実施した。これらの結果外国人のエントリー数が、前回大会の66人から202人に増加した。
- (7) 観光解説板整備事業
 - ・観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長を図るため、平成29年度に実施した基礎調査による観光客のニーズ・回遊実態・観光に関するサインの利用状況等の結果に基づき、「ぐるっと三浦・まちなかサインルートプラン」を策定した。
- (9) みうら夜市事業
 - ・平成30年度は、京急オープントップバスの展示・開放や特設ビアガーデンの設置等、新たな取組の実施により新規来場者の誘客を図るほか、滞在時間の延長や消費額の向上を図った。
 - ・外国人誘客に向けては、アメリカ海軍横須賀基地のSNS掲載と基地内でのチラシ配架を行った。更に、オーストラリアから来日中のALT（外国語指導助手）の方々には当日、浴衣を着てもらい三崎下町の伝統的な夏の夜を体験していただき、仲間の外国人にその楽しみ方を発信した。
- (11) 新たな観光の核づくり推進事業
 - ・平成30年度は、城ヶ島西部の魅力向上を図り、認可地縁団体城ヶ島区が実施した「恋する灯台プロジェクト」（城ヶ島灯台ラッピング等）に対し補助を行った。
- (12) みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション事業
 - ・県内外にみうら・みさき海の駅“うらり”の知名度を向上させるため、海の駅フェスタをはじめ海を活かしたイベントやうらりマルシェを通じて三浦特産の農水産物をPRするイベントを開催してうらりの魅力を発信した。
 - ・平成29年度に改修工事を行った「うらり2階」のウッドデッキは、常設のバーベキューコーナーや隣接する交流広場と一体化したステージイベントの会場として活用された。
- (その他) ※関連事業 みうらレンタサイクル
 - ・みうらレンタサイクル運営協議会（三浦市観光協会・三浦海業公社・三浦観光バス・ヤマハ発動機・城ヶ島・京浜急行電鉄・三浦市）と連携し、新たに「三浦海岸駅」ポートを増設して、「三崎口駅」「うらり」「城ヶ島」ポートとの連携によるレンタサイクル機能の拡充を図るとともに、京浜急行電鉄を中心とした効果的なプロモーションを実施し、観光客の回遊性向上を図った。
- ※三浦海岸の活用
 - ・三浦海岸海水浴場では、前年に引き続き、音楽が楽しめる「OTODAMA SEA STUDIO」、ビーチスポーツを気軽に楽しむための新たな仕掛けとして「SAMMY BEACH FIELD」が設置され、こうした遊びの多様化により、従来のファミリー層以外の若者などの誘客や滞在時間の延長が図られた。

H30年度の主な取組と工夫（実績）

構成事業の平成30年度の主な取組と成果					
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	みうら誘客プロモーション事業	旅行企画商品化本数：36本 インバウンドツアー及び海外からの修学旅行受入れ件数：0件 教育旅行正式予約学校数：19校	2	地域観光振興・情報発信事業	イベント支援件数：4件
3	観光団体育成事業	補助金交付件数：1件	4	地場産品消費拡大対策事業	物産展等実施回数：年間13回
5	三浦国際市民マラソン事業	大会実施回数：1回	6	三浦市東京支店事業	年間イベント出展回数：39回 営業日数：248日
7	観光解説板整備事業	ぐるっと三浦・まちなかサイントータルプランの策定：1件	8	観光インフォメーションセンター管理事業	観光インフォメーションセンター管理：1件委託 観光インフォメーションセンター運営：2件委託
9	みうら夜市事業	来場者数：39,550人	10	ウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会事業	大会開催：1回 来場者：49,482人
11	新たな観光の核づくり推進事業	補助金の交付：1件 新規事業者の参入：0件	12	みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション事業	第4回海の駅フェスタの開催：1回 船上釣り教室の開催：1回 大晦日サセットクルーズの開催：1回 元旦初日の出クルーズの開催：1回 みうら・みさき海の駅PRイベント：4回 うらりマルシェ農水産物対外PRイベント：8回
13	三崎下町地区駐車場対策事業	臨時駐車場開放：39日	14	ラッピングバス導入事業	(※H29で事業終了)

KPIの進捗状況

年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	入込観光客総数(人)	備考	観光客消費額(千円)	備考			
H24	5,024,500	実績値	11,912,315	実績値			 <p>(千円) (人)</p> <p>16,000,000 14,000,000 12,000,000 10,000,000 8,000,000 6,000,000 4,000,000 2,000,000 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H30 R01 R02</p> <p>■ 観光客消費額(千円) ◆ 入込観光客総数(人)</p> <p>(※H30からR02の数値(点線)は、目標値となります。)</p>
H25	5,388,100	実績値	12,553,786	実績値			
H26	5,706,900	実績値	13,217,196	実績値			
H27	5,918,300	実績値	13,858,701	実績値			
H28	6,016,800	実績値	13,991,265	実績値			
H29	6,311,000	実績値	14,029,501	実績値			
H30	6,370,900	実績値	14,034,471	実績値			
H30	6,371,000	目標値	14,584,000	目標値			
R01	6,514,000	目標値	14,828,000	目標値			
R02	6,640,000	目標値	15,052,000	目標値			
達成状況	×		×				
KPIの分析	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年の入込観光客総数は、前年と比べ海水浴客を中心に増加傾向となり、市全体で約6万人の増加となった。 三浦海岸花火大会において、天候による実施日の変更で集客減になったことなどが 		<ul style="list-style-type: none"> 平成30年の観光客消費額は前年と比べ4,970千円増加した。 主な増加要因は、入込観光客総数の増加に伴うものである。 なお、日帰り客は前年と比べて約6万8千人増加し、宿泊客は約8千人減少した。 		<ul style="list-style-type: none"> 目標未達成に少なからず影響した。 なお、市が関与して魅力あるイベントを継続実施することにより、入込観光客数全体の約20%の集客を確保している。 		

K P I 達 成 に 向 け た 課 題 と 今 後 の 改 善 策 ・ 手 法	<p>入込観光客数及び観光客消費額の増加のため、継続して効果的な情報発信と滞在時間の延長に向けた取組を実施する。</p> <p>(1) みうら誘客プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の誘致については、これまで実績のあるエリアへの営業を掘り下げて行うことで、受入件数の増加に繋げていく。 ・また、修学旅行に限定せず、大学の合宿や企業の研修等、受入れの幅を広げることで、件数の増加に繋げていく。 ・国内ツアーの誘致については、市内の観光素材を活かして滞在時間の延長が図れるようなツアー商品を企画し、旅行会社等に対し継続的な営業を行っていく。 ・インパウンドの推進については、本市のイベントに外国人のツアー客を呼び込むため、他自治体や企業との連携によるセールスや旅行会社等に対する営業を行っていく。 <p>(4) 地場産品消費拡大対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な情報の発信については、三浦市にお越しただけそうの方が多く来場されるイベントや三浦市の何に興味を持っていただけるかなどをアンケートの結果等で見極めながら、継続的にイベントへの出展等を行っていく。 <p>(5) 三浦国際市民マラソン事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なるランナーへのホスピタリティの向上、安心・安全な大会運営をコンセプトに、新たな取組を実施する。 ・外国人ランナーに対して大会の魅力を訴求し、参加者の多様化を図るとともに、滞在時間の延長を図る。 <p>(7) 観光解説板整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に策定した「ぐるっと三浦・まちなかサインータルプラン」に基づき、観光案内板等を整備し、観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長を図る。 <p>(9) みうら夜市事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に、外国人観光客と子供に対してイベントの魅力を訴求し、来場者数の増加に加えて、来場者の多様化を図る。 <p>(10) ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦海岸の海水浴期間以外の利活用が課題であり、平成31年度は横須賀・三浦大会として開催され、三浦海岸地区においても「OTODAMA SEA STUDIO」の設置をはじめ、様々なイベントが行われた。 また、この大会から海水浴が始まる6月下旬まで、「OTODAMA SEA STUDIO」が設置され、週末にライブが開催されるとともにスポーツイベントなども行われている。こうしたことをきっかけとして、今後も神奈川県とも連携しながら、三浦海岸の海浜利用を図っていく。 <p>(11) 新たな観光の核づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城ヶ島西部地区再整備方針に基づき認可地縁団体城ヶ島区が実施する（仮称）城ヶ島西部地区まちづくり基本構想の策定等に対し補助を行い、城ヶ島西部の景観整備や京急城ヶ島ホテルの建替えの早期実現を図るとともに、「新たな観光の核づくり構想推進協議会」の事務局として、「城ヶ島西部地区再整備」をきっかけとした地域活性化策の検討に必要な支援を行う。 <p>(12) みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の駅フェスタやうらり感謝祭などうらりで行うイベントによりみうら・みさき海の駅うらりの認知度が向上し、観光客数も増加してきたが、うらりから三崎地区へ観光客が回遊できるようなイベントを行い滞在時間の延長を図る。
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

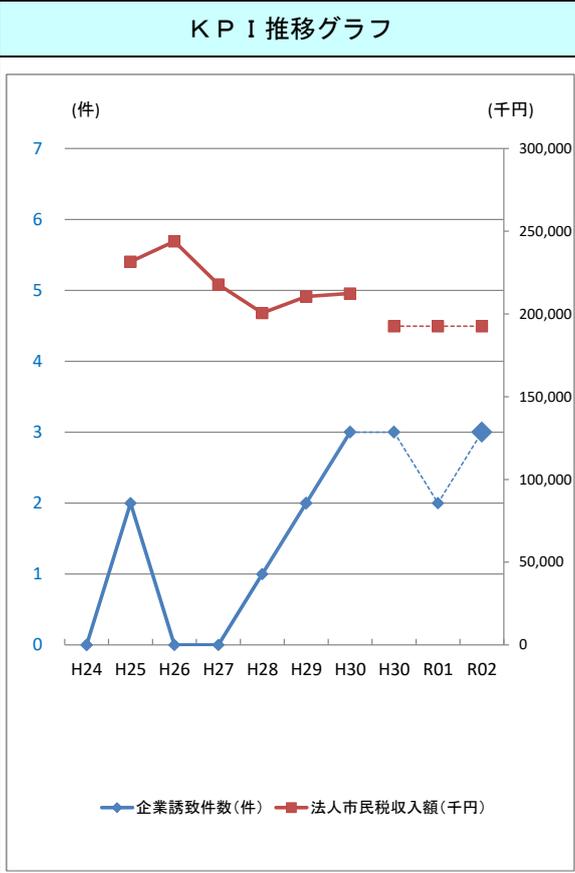
外部評価（2次評価）		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主 な 意 見
		<ul style="list-style-type: none"> ・ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会を、行政として国際大会をやるという認識をもう少し高めたほうが良い。 ・若い世代やカップルを集客するため、城ヶ島ライトアップは、事前周知をして取り組んだほうが良い。 ・観光消費額を向上させるためには宿泊者を増やす必要があり、民宿に対する支援が行政に求められると考えるので、合宿誘致などに取り組むのは良いと思う。 ・三浦国際市民マラソンについて、民宿をもっとPRしたほうが良い。 ・目標には達していないが、入込観光客数について、天候による悪影響もあった中で、前年度より増加していることを評価する。 ・民間や行政間をつなぐ役割が行政に求められていると思うので、イベント企画の際に主導的な役割を果たしてほしい。

基本目標	基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。	数値目標	個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R02目標値】16,400人 ----- 【H28実績】16,997人 【H29実績】17,014人 【H30実績】16,877人
	市内に市が関与して新たに創出する雇用者数【R02目標値】150人 ----- 【H28実績】0人 【H29実績】4人 【H30実績】107人		

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
2	市内への企業誘致に取り組むとともに、新規や既存の事業者の経営支援や企業間交流の機会づくりなど、営業を継続しやすい環境を整備し、事業活動の活性化を図ります。	2019	R01																												
具体的な施策	新たな雇用を創出し、地域を活性化させるため、幅広い業種を対象として二町谷地区埋立地への企業誘致に取り組みます。具体的には、「三浦市二町谷地区海業振興を目指す用地活用プロジェクト」において決定した契約候補者との土地売買契約の締結を目指します。 また、既存産業を支えるための事業継承や起業家に対する創業支援策の実施及び生涯活躍のまち（日本版CCRC）の三浦市における事業化について事業者との連携を図ります。	評価担当部課	政策部 （市長室） 経済部 （観光商工課）																												
事業名	持続可能な企業等誘致プロモーション事業 中小企業信用保証料補助事業 創業・事業承継支援事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f2f2f2;">年度</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">10,687</td> <td style="text-align: center;">10,480</td> <td style="text-align: center;">98.1%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">2,673</td> <td style="text-align: center;">2,557</td> <td style="text-align: center;">95.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">4,082</td> <td style="text-align: center;">2,658</td> <td style="text-align: center;">65.1%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R01</td> <td style="text-align: center;">2,875</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">20,317</td> <td style="text-align: center;">15,695</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	10,687	10,480	98.1%	H29	2,673	2,557	95.7%	H30	4,082	2,658	65.1%	R01	2,875			R02				計	20,317	15,695	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	10,687	10,480	98.1%																												
H29	2,673	2,557	95.7%																												
H30	4,082	2,658	65.1%																												
R01	2,875																														
R02																															
計	20,317	15,695	/																												

内部評価（1次評価）					
H30年度の 主な取組と工夫 (実績)	<p>(1) 持続可能な企業等誘致プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二町谷埋立地の水産関連事業用地では、1者と事業用定期借地権設定契約を締結し、2者と長期土地賃貸借契約を締結した。 ・また、市内事業者1者とは、令和元年12月の事業用定期借地権設定契約に向けた具体的な協議を行った。 ・その他複数の事業者に対し、未活用用地への企業誘致を行った。 ・平成30年度末時点で、水産関連事業用地全体16,213.63㎡のうち約4割となる6,639.25㎡に企業が進出した。 ・多目的活用事業用地では、平成28年度の事業者募集により決定した契約候補者と平成30年6月に基本協定を締結した。 ・基本協定に基づき土地売買契約の締結に向けて、地区計画の変更に向けた取り組み、国家戦略特区の活用の検討等を行った。 ・また、多目的活用事業用地の利活用に当たり、引き続き神奈川県と連携を図っている。 <p>(2) 創業・事業承継支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦商工会議所と神奈川産業振興センターと連携して、「事業承継セミナー」を南下浦市民センターにおいて開催した。神奈川県よろず支援拠点のコーディネーターで後継者育成及び事業承継支援を数多く実践している講師による講演や事業承継を実際に体験した先輩から具体的な話を語ってもらい、参加者からは、「不安に思っていたことを具体的に聞けた」などの声があり、事業承継を控えた受講者に対して、即効性のあるセミナーを開催し、事業承継に向けた意識の向上を図った。（参加事業者7名） 				
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	持続可能な企業等誘致プロモーション事業	基本協定の締結：1件 都市計画（地区計画）の変更案の作成：1件	2	創業・事業承継支援事業	セミナーの開催：1回
3	中小企業信用保証料補助事業	補助件数：32件	4		
5			6		

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	企業誘致件数(件)	備考	法人市民税収入額(千円)	備考		
H24	0	実績値	-	実績値		
H25	2	実績値	231,587	実績値		
H26	0	実績値	243,867	実績値		
H27	0	実績値	217,866	実績値		
H28	1	実績値	200,533	実績値		
H29	2	実績値	210,584	実績値		
H30	3	実績値	212,427	実績値		
H30	3	目標値	192,628	目標値		
R01	2	目標値	192,622	目標値		
R02	3	目標値	192,617	目標値		
達成状況	○		○			
KPIの分析	<p>KPI①</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産関連事業用地では、2者が3区画に立地した。 市内事業者1者とは次年度の立地に向けた具体的な協議を行った。 平成30年度末時点で水産関連事業用地全体の4割に当たる面積に企業が進出しており、企業誘致は一定程度進んでいると考える。 多目的活用事業用地では、平成30年6月に締結した基本協定に基づき、事業者をはじめ神奈川県等の関係機関と連携して、令和元年12月末を目途とした土地売買契約の締結に向けて取り組んでいる。 <p>KPI②</p> <ul style="list-style-type: none"> 増加したのは、漁業・水産養殖業(約720万円)、建設業(約250万円)、金融・保険・不動産業(約660万円)の3産業であり、減少したのは、製造業(約△330万円)、卸売業・小売業(約△330万円)、運輸・通信業(約△330万円)、サービス業(約△460万円)の4産業であり、合計で約180万円増加となった。 					
	<p>(※H30からR02の数値(点線)は、目標値となります。)</p>					
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>(1) 持続可能な企業等誘致プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、多目的活用事業用地において、基本協定契約に基づき地区計画の変更等所要の手続きを行い、引き続き神奈川県と協議・調整を行いながら、用地の利活用に向け土地売買契約の締結を目指す。また、基本協定に基づき事業を推進するため、国家戦略特区の認定に向けて取り組む。水産関連事業用地では未活用用地における企業誘致に引き続き取り組む。 令和2年度以降は、多目的活用事業用地の土地売買契約が完了した後、事業者による事業開発が進むよう、企業誘致支援制度の活用に関する支援を行うなど、引き続き事業者と連携を図っていく。また、水産関連事業用地では未活用用地における企業誘致に引き続き取り組む。 					
	<p>(2) (3) 創業・事業承継等中小企業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、創業支援と事業承継に関する相談窓口の充実を図るとともに、セミナーなどの開催や情報提供を積極的に行う。 また、中小企業の経営健全化、事業の拡大、雇用の創出及び継続のため、神奈川県信用保証協会の保証を受けて、神奈川県中小企業制度融資を受けた事業者に対し、信用保証料の一部を助成する。 					



内部評価結果	
施策 の 評価	5 目標達成しています。

外部評価（2次評価）			
施策 の 評価	5 目標達成しています。	主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成しており、良い方向に進んでいるので、継続して企業誘致に取り組んだほうが良い。

基本目標	基本目標 1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。	数値目標	個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R02目標値】16,400人 ----- 【H28実績】16,997人 【H29実績】17,014人 【H30実績】16,877人
	市内に市が関与して新たに創出する雇用者数【R02目標値】150人 ----- 【H28実績】0人 【H29実績】4人 【H30実績】107人		

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
3-1	漁港整備や経営支援、水産業従事者への各種支援を通じて、基幹産業である水産業の活力を維持し、市内における水産物の取扱量を維持・拡大します。	2019	R01																												
具体的な施策	市内漁港の取扱金額を維持し、漁業及びその関連産業を活性化するため、安全・安心な安定供給とともに、三崎ブランドの価値向上や地域の活性化を目指し、国・県・関係団体と連携し、三崎漁港の高度衛生管理化を進めます。また、漁業収入向上に向けて策定している「浜の活力再生プラン」の推進に資する取組に対する支援などを実施します。	評価担当部課	経済部 (水産課)																												
事業名	浜の活力再生プラン等支援事業 三崎漁港整備事業 市営漁港整備事業 市場高度衛生管理化対策事業 三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e6e6fa;">年度</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td style="text-align: right;">857,041</td> <td style="text-align: right;">797,244</td> <td style="text-align: right;">93.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td style="text-align: right;">948,982</td> <td style="text-align: right;">942,783</td> <td style="text-align: right;">99.3%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td style="text-align: right;">1,508,332</td> <td style="text-align: right;">110,635</td> <td style="text-align: right;">7.3%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td style="text-align: right;">1,020,813</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">4,335,168</td> <td style="text-align: right;">1,850,662</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	857,041	797,244	93.0%	H29	948,982	942,783	99.3%	H30	1,508,332	110,635	7.3%	R01	1,020,813			R02				計	4,335,168	1,850,662	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	857,041	797,244	93.0%																												
H29	948,982	942,783	99.3%																												
H30	1,508,332	110,635	7.3%																												
R01	1,020,813																														
R02																															
計	4,335,168	1,850,662	/																												

内部評価（1次評価）					
H30年度の主な取組と工夫 (実績)	<p>(1) 市場高度衛生管理化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月から低温卸売市場での冷凍まぐろの取引を開始し、高品質な水産物の安定供給のため、関係機関と連携して当該施設の高度衛生管理基準に適合した管理運営に継続して取り組んだ。 三崎水産物地方卸売市場の高度衛生管理化に向けて、既存市場を高度衛生管理化対応の沿岸卸売市場とするための改修や製氷施設の更新、まぐろ裁割工場の移転・更新を行う沿岸卸売市場外改修工事を平成30年12月から令和2年9月末までの工期で実施している。 <p>(4) 三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産物の輸出に関する普及啓発のための地元事業者向けセミナー1回を開催したほか、三崎漁港の水産物を取り扱う事業者に対して海外展開の足がかりとなる国外の見本市への出展等の支援4件を実施した。 国内開催の国際見本市「ジャパンインターナショナルシーフードショー」に三崎漁港輸出促進協議会として出展し、冷凍マグロ専用の高度衛生管理された三浦市低温卸売市場のPRを行うとともに、取扱いの中心である三崎マグロや三崎漁港のハマチ、タイなどの蓄養殖魚やキンメダイ等の水産物や水産加工品のPRを行った。 三浦市内の水産関係の輸出動向は、協議会で把握している輸出に取り組む事業者からの聞き取りでは、平成27年度当時と比較して1.7倍程度の増加になっていると伺っている。 <p>(5) 浜の活力再生プラン等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁業収入向上のため魚価の向上やコスト削減など具体的な取組を検討し、「浜の活力再生プラン」の推進に資する磯焼け対策や藻場回復事業等の取組を支援した。 <p>(その他) 水揚漁船の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> 新設した三崎漁港で水揚した遠洋まぐろはえ縄漁船に対する水揚奨励金を15件交付したほか、市内水産業界と連携した遠洋まぐろ漁船の基地港のトップセールスを岩手県、富山県、宮城県、船主計9社に対して実施した。 平成30年度の三崎漁港での遠洋まぐろはえ縄漁船の水揚は、平成29年度に比べて1隻増の15隻の水揚となった。 				
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	市場高度衛生管理化対策事業	沿岸卸売市場外改修工事：1件	2	三崎漁港整備事業	特定漁港漁場整備事業：2箇所 水産物供給基盤機能保全事業：1箇所
3	市営漁港整備事業	間口漁港照明施設工事：0基 (繰越明許、R1年6月完成予定) 間口漁港護岸工事：1件	4	三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業	協議会による出展：1回 事業者の海外出展等への支援：4件
5	浜の活力再生プラン等支援事業	磯焼け対策・藻場等回復事業等への支援：5件	6		

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	市内漁港取扱金額(千円)	備考					
H24	15,292,182	実績値					<p>(千円)</p> <p>18,000,000 16,000,000 14,000,000 12,000,000 10,000,000 8,000,000 6,000,000 4,000,000 2,000,000 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H30 R01 R02</p>
H25	14,626,620	実績値					
H26	13,579,513	実績値					
H27	14,793,158	実績値					
H28	13,968,302	実績値					
H29	13,475,515	実績値					
H30	12,833,430	実績値					
H30	14,794,000	目標値					
R01	14,794,000	目標値					
R02	14,794,000	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<p>・ KPIで設定している三崎水産物地方卸売市場水揚金額と市営漁港水揚金額とを合わせた市内漁港取扱金額は、平成30年は128億3,343万円で、目標値147億9,400万円を19億6,057万円、13.2%下回った。</p> <p>・ KPI目標値の基準とした平成27年度の取扱金額と比較すると、三崎漁港での水揚と陸送品を合わせた冷凍マグロが△19億2,200万円、14.9%減少しているが、沿岸・沖合漁業は13～15億円台の横ばいで推移していることから、冷凍マグロの取扱の減少がKPI目標値を下回った主たる要因である。</p> <p>・ 冷凍マグロの取扱数量は、平成28年秋からのメバチの国際的漁獲規制と不漁による商材不足により、H27からH30の4年間で2割以上減少しており、そのうち、特にほぼ全量がメバチとなる陸送品では23.7%減と顕著である。この影響により取扱金額も減少を続けている。なお、冷凍マグロ専用の低温市場で取引を開始したH30にはH29の価格高騰が一段落したことから取扱金額は減少しているものの取扱量の減少には歯止めがかかっている。</p> <p>・ 一方、沿岸・沖合漁業の取扱金額は、市内漁業者の水揚の減少をかつお一本釣り漁船をはじめとする外来船による水揚が補うかたちで取扱金額は4年前の水準を維持している。</p> <p>・ 目標達成のためには、三崎魚市場を中心とした市内の水産物取扱量の増加と需要の拡大を図る必要がある。</p>						<p>(※H30からR02の数値(点線)は、目標値となります。)</p>

KPI 達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p><まぐろ・沿岸漁業関係></p> <p>(1) 市場高度衛生管理化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年、2年度は、沿岸卸売場の高度衛生管理化による沿岸漁獲物の付加価値向上を図るため、既存卸売市場の天井の設置、製氷施設の改修、岸壁の底の整備等、国の高度衛生管理基準に対応する改修工事を実施する。 ・平成30年度から冷凍まぐろの取引を開始した低温卸売市場については、高品質な水産物の安定供給のため、関係機関と連携して当該施設の高度衛生管理基準に適合した管理運営に継続して取り組む。 <p>(4) 三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三崎ブランドの強化、価格形成力の向上を図るため、三崎漁港輸出促進協議会による国内開催の国際見本市への出展や海外出展等に取り組む事業者への支援を実施するほか、海外展開の実績のない事業者に向けたセミナーの開催等の普及啓発に取り組む。 ・海外出展等に取り組む事業者への支援については、多くの企業が参加する見本市に出展するものや新たに輸出に取組むもの、新たな品目の輸出に取組むものを優先して支援する。 <p>(その他) 水揚漁船の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、三崎漁港への水揚及び三崎魚市場の取扱量の増大を図るため、三崎漁港で水揚した遠洋まぐろはえ縄漁船への奨励金の交付のほか、市内水産業界と連携した遠洋まぐろ漁船の誘致活動等に引き続き取り組むこととしており、6月には静岡県の出荷業者等を訪問して意見交換を行ったほか、鹿児島県等の遠洋まぐろはえ縄漁船の船主をトップセールスする予定である。 ・新規の取組として、令和2年度の沿岸卸売市場改修工事完成を見据えた沿岸・沖合ものの取扱量の増大を図るため、高知県等の県外のかつお一本釣り漁船の船主へのトップセールス等と誘致活動に取り組む予定である。 <p><沿岸漁業関係></p> <p>(5) 浜の活力再生プラン等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度も磯焼け対策や藻場回復等の漁業者の取組について成果を検証し、さらなる漁業所得の向上を目指して県水産技術センターと連携して漁業者を支援する。
---------------------------	---

内部評価結果

施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。
-------	-----------------------------

外部評価（2次評価）

施策の評価	主な意見	<p>3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営漁港について大型台風への対策を図ることが重要である。 ・グローバルブランディング事業について、市内業者の海外展開を継続支援すると良い。
-------	------	--

基本目標	基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。	数値目標	個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R02目標値】16,400人 ----- 【H28実績】16,997人 【H29実績】17,014人 【H30実績】16,877人
	市内に市が関与して新たに創出する雇用者数【R02目標値】150人 ----- 【H28実績】0人 【H29実績】4人 【H30実績】107人		

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
3-2	良好な農地の整備・維持管理、流通システム環境整備、ブランド開発支援等により農業生産性を維持・向上させます。	2019	R01																												
具体的な施策	農業産出額を維持するため、諸磯・小網代・初声町和田・初声町高円坊の畑地かんがい施設、農道、排水路の総合的な整備や有害鳥獣被害対策への取組などにより営農環境の改善を図るとともに、三浦市農業後継者対策実行委員会が実施する男女農業者と都市在住者との農業体験型交流イベントの開催を支援し農業後継者不足の改善を図ります。	評価担当部課	経済部 (農産課)																												
事業名	三浦野菜品種改良等支援事業 三浦野菜安全・安心事業 有害鳥獣被害対策事業 農業次世代人材投資事業 諸磯小網代地区畑地帯総合整備事業 農とみどりの整備事業 初声及び南下浦地区畑地帯総合整備事業 環境保全型農業支援事業 農業の多面的機能促進事業 農業後継者対策事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f2f2f2;">年度</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td style="text-align: center;">62,677</td> <td style="text-align: center;">54,683</td> <td style="text-align: center;">87.2%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td style="text-align: center;">76,664</td> <td style="text-align: center;">69,926</td> <td style="text-align: center;">91.2%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td style="text-align: center;">60,948</td> <td style="text-align: center;">58,317</td> <td style="text-align: center;">95.7%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td style="text-align: center;">53,470</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">253,759</td> <td style="text-align: center;">182,926</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	62,677	54,683	87.2%	H29	76,664	69,926	91.2%	H30	60,948	58,317	95.7%	R01	53,470			R02				計	253,759	182,926	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	62,677	54,683	87.2%																												
H29	76,664	69,926	91.2%																												
H30	60,948	58,317	95.7%																												
R01	53,470																														
R02																															
計	253,759	182,926	/																												

内部評価（1次評価）	
H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>(1) 三浦野菜安全・安心事業 ・三浦野菜・ダイコンの放射能濃度検査を実施している三浦市農業協同組合を支援し、市場・消費者等に安全・安心を証明した。（検査数13点）</p> <p>(2) 有害鳥獣被害対策事業 ・市内各地で発生しているアライグマ、ハクビシン等による農産物への被害、生活圏への侵入による生活被害及び地域生態系への環境被害に対応するため、三浦市農業協同組合と連携し捕獲檻の貸出を実施した。</p> <p>(3) 農業次世代人材投資事業 ・不安定な就農初期段階の青年就農者に対して給付金を交付することにより、青年就農者の就農意欲の喚起及び就農の定着を図った。</p> <p>(4) 諸磯小網代地区畑地帯総合整備事業 ・県営事業として、三崎町諸磯及び小網代地区内約30haの土地改良事業区域において、畑かんがい用水設備、農道及び排水路等を総合的に整備するため、三浦市諸磯小網代土地改良区が実施している土地改良事業に対して補助を行い、事業の促進に努めた。</p> <p>(5) 農とみどりの整備事業 ・県費補助対象事業として、松輪地区と諸磯小網代地区の農道整備を行い、営農環境の向上を図った。</p> <p>(6) 初声及び南下浦地区畑地帯総合整備事業 ・県営事業として初声町水余地区で実施されている排水路整備の実施にあたり、事業費の一部を負担し、農業生産性の向上を図った。</p> <p>(その他) ・三浦市農業協同組合とともに、2月に長野県連合青果(株)、(株)長印及び新潟中央青果(株)を訪問し、流通販路の拡大等を目指してトップセールスを行った。 ・都内及び京浜地区、三浦半島地区の鉄道沿線に展開している大手量販店に三浦野菜の常設コーナーを拡充し、また、県内に初出店となる大型量販店に三浦野菜の常設コーナーを開設した。 ・大手コンビニエンスストアと三浦野菜を使った商品開発を行い、試験的に販売を行った。</p>

構成事業の平成30年度の主な取組と成果

No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	三浦野菜安全・安心事業	放射性物質濃度検査点数：13点	2	有害鳥獣被害対策事業	対象有害鳥獣処理：178件（アライグマ：42件、タイワンリス：83件、ハクビシン：53件、カラス：0件）
3	農業次世代人材投資事業	就農支援：2件	4	諸磯小網代地区畑地帯総合整備事業	畑地かんがい用管路布設：L=1, 100m
5	農とみどりの整備事業	松輪地区農道整備：L=117m 諸磯小網代地区農道整備：L=55m	6	初声及び南下浦地区畑地帯総合整備事業	排水路整備：L=50m
7	環境保全型農業支援事業	カバークロープの取組面積：280a リビングマルチの取組面積：81a	8	農業の多面的機能促進事業	農地維持活動の取組面積：34, 859 a
9	農業後継者対策事業	農業体験型交流イベント：2回	10	三浦野菜品種改良等支援事業	品種改良等試験：5件

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	農業産出額 (千円)	備考					
H24	7,145,822	実績値					<p>(千円)</p> <p>10,000,000 9,000,000 8,000,000 7,000,000 6,000,000 5,000,000 4,000,000 3,000,000 2,000,000 1,000,000 0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H30 R01 R02</p> <p>(※H30からR02の数値(点線)は、目標値となります。)</p>
H25	6,705,298	実績値					
H26	6,354,228	実績値					
H27	6,679,448	実績値					
H28	7,379,019	実績値					
H29	9,116,629	実績値					
H30	5,267,403	実績値					
H30	6,680,000	目標値					
R01	6,680,000	目標値					
R02	6,680,000	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<p>・H30年度は悪天候だけではなく、種に異種が混在していた事により3/4の量に生育不良が発生し、残った1/4も浸食される事態が発生したため、秋冬キャベツの出荷が遅れた。</p> <p>・キャベツ販売実績(約1,090,000千円減)、ダイコン販売実績(約2,658,000千円減)、スイカ販売実績(約44,000千円減)などにより、前年度から農業産出額が大幅減少した。(約3,850,000千円)。</p>						
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>令和元年度以降の目標値達成に向けて、既存の事業を継続して実施する必要がある。特に下記の内容を課題ととらえている。</p> <p>(1) 三浦野菜安全・安心事業 野菜の安全・安心の証明は、出荷に多大な影響を及ぼすことから、今後も途切れることなく検査を実施する必要がある。</p> <p>(2) 有害鳥獣被害対策事業 有害鳥獣による農作物への被害は後を絶たず、市域を越えて拡大するため、市単独のみではなく地域での取り組み、連携を強化し、県域で計画的かつ積極的に対応するよう県への働きかけを継続する必要がある。</p> <p>(3) 三浦野菜品種改良等支援事業 露地野菜一大産地としての生産性並びに市場における優位性を維持する為に、次代を担う農作物の開拓、栽培技術の向上、環境保全型農業の推進等に向けた取組に対する支援を継続する必要がある。</p> <p>(その他) トップセールス 安定した収入の確保等生産者に向けた政策の取組として、取引価格の向上と流通販路の拡大等を目指して今後も積極的にトップセールスを行う必要がある。</p> <p>令和元年度は、11月に都内市場、2月に福島県、宮城県の市場関係者にトップセールスを行う予定である。</p>						
内部評価結果							
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。						

外部評価(2次評価)		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	<p>主な意見</p> <p>・特になし。</p>

基本目標	基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。	数値目標	個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R02目標値】16,400人 ----- 【H28実績】16,997人 【H29実績】17,014人 【H30実績】16,877人
	市内に市が関与して新たに創出する雇用者数【R02目標値】150人 ----- 【H28実績】0人 【H29実績】4人 【H30実績】107人		

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
3-3	魅力的な商店街づくりや中小企業の創意工夫など商工業者自身による経営努力を支援するとともに、経営安定化や雇用維持のための公的支援策を通じて地元雇用の場としての商業・工業の活力を維持・向上させます。	2019	R01																												
具体的な施策	商工サービス業の振興を図るため、地域経済の活性化を担う商工会議所への助成、建築業の人材育成を行っている建築職業訓練校への助成、リフォーム助成及び市内まちおこし団体への支援等を行います。	評価担当部課	経済部 (観光商工課) 総務部 (財産管理課)																												
事業名	地域活性化事業 商工団体育成事業 勤労者福利共済融資預託事業 中小企業退職金共済掛金補助事業 住宅リフォーム助成事業 三浦市経済対策利子補給金交付事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f2f2f2;">年度</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td style="text-align: center;">17,380</td> <td style="text-align: center;">17,137</td> <td style="text-align: center;">98.6%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td style="text-align: center;">19,626</td> <td style="text-align: center;">19,252</td> <td style="text-align: center;">98.1%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td style="text-align: center;">19,338</td> <td style="text-align: center;">19,220</td> <td style="text-align: center;">99.4%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td style="text-align: center;">18,887</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">75,231</td> <td style="text-align: center;">55,609</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	17,380	17,137	98.6%	H29	19,626	19,252	98.1%	H30	19,338	19,220	99.4%	R01	18,887			R02				計	75,231	55,609	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	17,380	17,137	98.6%																												
H29	19,626	19,252	98.1%																												
H30	19,338	19,220	99.4%																												
R01	18,887																														
R02																															
計	75,231	55,609	/																												

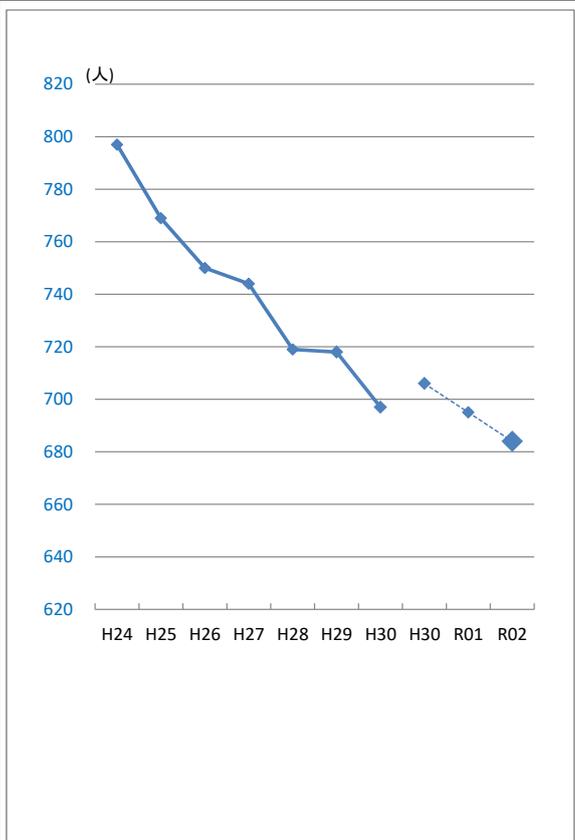
内部評価（1次評価）

<p>H 3 0 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 (実績)</p>	<p>(1) 地域活性化事業 ・三浦海岸地区活性化のため、「わいわい市」「河津桜の管理」などの事業を推進する「三浦海岸まちなみ事業協議会」に対し運営費の一部を負担した。また、「MISAKIぐるぐる春まつり」「三浦三崎マグロ争奪将棋大会」に補助を行い、マグロを中心とした地場製品のPRをし、地域の活性化を図った。</p> <p>(2) 商工団体育成事業 ・市内商工団体の経営安定と活性化を図るため、三浦商工会議所中小企業相談所等に対して事業費の一部を補助し、商工団体の健全な育成を図った。</p> <p>(3) 勤労者福利共済融資預託事業 ・勤労者の福利及び生活援助資金確保のため、中央労働金庫に運用資金を預託し、勤労者に対する融資活動の円滑化を図った。</p> <p>(4) 中小企業退職金共済掛金補助事業 ・中小企業者が負担する退職金共済掛金の一部を補助し、中小企業の振興と従業員の福祉向上及び雇用の安定を図った。</p> <p>(5) 住宅リフォーム助成事業 ・40件の住宅リフォームを対象に、一律7万円の助成を行い、多数の業種にわたる中小工事事業者の事業創出を促進し、市内全体の経済活性化及び住環境の向上に努めた。</p> <p>(6) 三浦市経済対策利子補給金交付事業 ・市内金融機関から年末(11月～12月)に融資を受けた市内中小事業者に対し、借入金の利子の一部を補助することにより、事業者の緊急支援を行った。</p> <p>(その他) 関連事業 職業相談事業 ・ハローワーク横須賀と三浦商工会議所と連携して、「みうらで働こう面接・相談会」を三浦商工会議所において開催した。求人事業者15社が参加し、求職者に対して、バスツアーでの企業見学やプレゼン及び面接を行い、市内での雇用の創出に向けた支援を図った。(バスツアー参加者13人、来場者数73人、面接会参加者67人)</p> <p>※施策No.2の創業支援・事業承継事業として、・三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、市内で創業又は事業承継を行おうとしている事業者に対して支援し、中小企業者数の維持・増加を図った。</p> <p>商工会議所の工夫と取組み ○会員を増やすための工夫 ・会員増強運動10月1日～3月31日(役員・議員、青年部、職員は1年中) ・特に所得税確定申告指導時期(2月～3月)に、非会員に対し加入を促している。 ○退会を抑制するための取組み ・脱会の申し出時期に、廃業・移転等の理由以外は、会議所のサービス内容を再度説明し慰留している。 ・事業承継に関する情報発信・相談対応を積極的に推進することにより、会員減少を図っている。</p>
--	---

構成事業の平成30年度の主な取組と成果

No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	地域活性化事業	負担金交付件数：2件 補助金交付件数：1件	2	商工団体育成事業	補助金交付件数：2件
3	勤労者福利共済融資預託事業	融資件数：1件	4	中小企業退職金共済掛金補助事業	補助件数：34件
5	住宅リフォーム助成事業	補助金交付：40件	6	三浦市経済対策利子補給金交付事業	利子補給件数： ・平成29年度債務負担行為分 61件 ・平成30年度補正分 11件

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	商業・工業従業者数(人)	備考				
H24	797	実績値				
H25	769	実績値				
H26	750	実績値				
H27	744	実績値				
H28	719	実績値				
H29	718	実績値				
H30	697	実績値				
H30	706	目標値				
R01	695	目標値				
R02	684	目標値				
達成状況	×					
KPIの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPIは商工会議所の会員数のうち商業部会と工業部会の会員数を指標としている。 ・ 各部会会員の増減比較 商業部会：H28→29 (△ 3) に対しH29→30 (△12) 工業部会：H28→29 (2) に対しH29→30 (△ 9) ・ H29→30商業部会、工業部会ともに減少しており、主な原因は、事業者の高齢化及び後継者へ事業承継されないことによるものである。 ・ 創業支援に関しては、商工会議所が相談窓口となり創業に至った件数がH29 12人に対しH30は14人、うち、商工会議所の会員となった者は、H29 10人 (内、商業工業部会 5人) に対し、H30は 11人 (内、商業工業部会 3人) となっている。 					
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き各種団体等への補助等の支援の実施を継続していく。 (施策No. 2の創業・事業承継等中小企業支援事業として) ・ 三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、創業支援と事業承継に関する相談窓口の充実を図るとともに、セミナーなどの開催や情報提供を積極的に行う。 ・ また、中小企業の経営健全化、事業の拡大、雇用の創出及び継続のため、神奈川県信用保証協会の保証を受けて、神奈川県中小企業制度融資を受けた事業者に対し、信用保証料の一部を助成する。 					
内部評価結果						
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。					



(※H30からR02の数値(点線)は、目標値となります。)

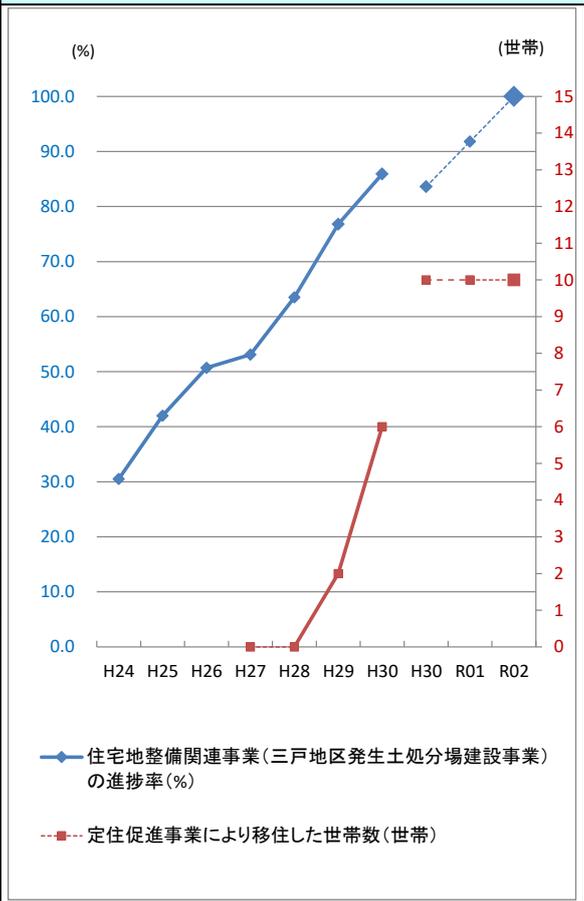
外部評価(2次評価)		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業支援を行う際、三浦商工会議所の会員のメリットを施策として出して行くと良い。 ・ 会員を増やす取組として、開業に関する事務手続きを行う際に関わりを持つ等新たな取組も検討すること。

基本目標	基本目標 2：「三浦市への新しいひとの流れをつくる」 三浦市らしいライフスタイルの発信や、若年世帯から中高齢世帯までがそれぞれの志向にあった住宅を選択できるような特色のある多様な住宅地の整備に取り組み、転出抑制、転入促進を図ります。	数値目標	社会減	【目標値】 (H28～R02) 177人 ----- 【H28実績】 183人 【H29実績】 331人 【H30実績】 261人

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
4	三浦市に居住したいと考える人のニーズにあった宅地供給や住宅地整備の実現に向けた支援を行うとともに、転入・定住支援策によって、市内への転入者を増やします。	2019	R01																												
具体的な施策	定住促進のため、市内の空き物件を利用したトライアルステイ（お試し居住）及び移住セミナー等の実施により、ライフスタイルに応じた移住の提案を行います。 また、子育て世帯の転入促進、転出抑制を図るため、PPPを活用した子育て賃貸住宅の整備に向けた検討や、移住相談窓口の設置による移住希望者のサポートを行います。さらに、将来的な人口減少抑制のため、三戸小網代土地区画整理事業の準備事業（三戸地区発生土処分場建設事業）の支援を行います。	評価担当部課	政策部 (市長室) 総務部 (財産管理課) 都市環境部 (都市計画課)																												
事業名	三戸小網代土地区画整理支援事業（※H29で事業終了） (仮称) 子育て賃貸住宅整備事業 トライアルステイ（お試し居住）事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f0f0f0;">年度</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">25,214</td> <td style="text-align: center;">23,537</td> <td style="text-align: center;">93.3%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">15,984</td> <td style="text-align: center;">14,833</td> <td style="text-align: center;">92.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">17,316</td> <td style="text-align: center;">16,728</td> <td style="text-align: center;">96.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R01</td> <td style="text-align: center;">37,572</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">96,086</td> <td style="text-align: center;">55,098</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	25,214	23,537	93.3%	H29	15,984	14,833	92.8%	H30	17,316	16,728	96.6%	R01	37,572			R02				計	96,086	55,098	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	25,214	23,537	93.3%																												
H29	15,984	14,833	92.8%																												
H30	17,316	16,728	96.6%																												
R01	37,572																														
R02																															
計	96,086	55,098	/																												

内部評価（1次評価）					
H30年度 の主な取組 と工夫 (実績)	<p>(1) トライアルステイ（お試し居住）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライアルステイを平成30年8月から平成31年1月にかけて実施し、29組が参加した。 ・平成30年度は、市内に自社物件を多く持つ不動産事業者と連携したことにより、条件の良いトライアルステイ物件を確保することができた。 ・前年度より物件と期間を増やしたため、参加者数が増加した。（H29：18組→H30：29組） ・これまでの参加者からの要望もあり、開催期間に夏の季節を含め、参加者に好評だった。 ・三浦市のエリアとしての魅力を高めるために、遊休化した公共施設の活用戦略推進業務を委託事業により行った。 ・ふるさと回帰支援センター（東京有楽町）において初めて三浦市単独で移住セミナーを開催した。その他、神奈川県主催の移住セミナーに3回参加し、三浦市内への移住をアピールした。 <p>①9月28日(金)26組 ②11月9日(金)18組 ③12月22日(土)13組※市単独開催 ④3月15日(金)27組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク横須賀と連携し、平成31年2月に「みうらで働こう！面接・相談会」を開催し、移住希望者向けのバスツアーを行った（バスツアー参加者10組）。また、平成29年度から引き続きハローワーク横須賀と連携して移住者受入連携企業の登録を行い、移住希望者のうち三浦市内での就職を希望する方に案内した。 ・移住相談窓口、移住セミナー及びバスツアーにおける移住相談に対応した（計122件）。 <p>(3) (仮称) 子育て賃貸住宅整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南下浦市民センターの建替え及び子育て賃貸住宅整備に係るPFI事業化に向けた導入可能性調査を委託し、前提条件の整理、事業スキームの検討、民間事業者との対話、VFMの評価等最適な事業手法について検証（検討）した結果、PFI手法を採用して事業化させることの妥当性を確認した。同業務内で事業への参画意欲のある業者の掘り起こし及びPFI事業の経験のない地元業者等のPFIに関する理解度の向上を目的とした勉強会を実施したところ、参加業者から事業への参画について、前向きな反響があった。 				
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	トライアルステイ（お試し居住）事業	トライアルステイにより移住した世帯の数：2世帯 リノベーション案件の発掘：0件 移住相談窓口での相談件数：122件	2	三戸小網代土地区画整理支援事業	(※H29で事業終了)
3	(仮称) 子育て賃貸住宅整備事業	事業手法の決定：1件	4		
5			6		

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	住宅地整備関連事業（三戸地区発生土処分場建設事業）の進捗率（%）	備考	定住促進事業により移住した世帯数（世帯）	備考		
H24	30.5	実績値	-	実績値		
H25	42.0	実績値	-	実績値		
H26	50.7	実績値	-	実績値		
H27	53.1	実績値	0	実績値		
H28	63.5	実績値	0	実績値		
H29	76.8	実績値	2	実績値		
H30	85.9	実績値	6	実績値		
H30	83.6	目標値	10	目標値		
R01	91.8	目標値	10	目標値		
R02	100.0	目標値	10	目標値		
達成状況	○		×			
KPIの分析	<ul style="list-style-type: none"> 土砂搬入量は安定していた。 なお、三戸地区発生土処分場建設事業の事業者である京急は、令和2年度に完了するよう事業を進めている。 		<ul style="list-style-type: none"> 上記事業の結果、6世帯が三浦市へ移住した。 また、2世帯が都心と三浦市との2拠点居住をしている。 トライアルステイについてはメディアでも度々取り上げられ、トライアルステイ参加者以外でも複数の世帯が移住されていると聞いている。 実績としてはまだ少ないものの、三浦への移住について関心が高まっているものと感じている。 			
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>(1) トライアルステイ（お試し居住）事業 令和元年度 ・前年度に夏の季節を含めた開催時期としたことが好評だったため、令和元年度はさらに夏の時期を拡大して実施する。 ・トライアルステイ参加者など移住希望者が知りたい物件情報などを、事業者と連携して的確に案内できるよう取り組む。 ・今後、地元事業者等が主体となって自立したトライアルステイ事業が行えることを目指し、事業のあり方について検討する。 ・課題である若年層への移住訴求、トライアルステイ参加を促すため、6月発行の移住雑誌に広告を掲載した。 ・移住等希望者へのニーズ対応やトライアルステイのフォローアップを行い移住・定住を増加させるため、「移住相談窓口」の運営や都内で開催される移住セミナーでの相談対応等に取り組む。</p> <p>令和2年度 ・移住、2地域居住、さらには関係人口の増加を目指し、幅広く三浦に関心を持っていただくための取組みを検討する。</p> <p>(2) 三戸小網代土地区画整理支援事業 ・三戸小網代土地区画整理支援事業は、三戸地区土地区画整理組合設立準備委員会の解散に伴い事業を終了したが、京急が行う発生土処分場建設事業の進捗状況については、引き続き毎月把握する。</p> <p>(3) (仮称) 子育て賃貸住宅整備事業 ・令和元年度は、平成30年度の調査の結果を基礎情報としつつ、2箇年にわたるアドバイザー業務委託を契約し、事業条件、設計基準等に関して詳細な検討を実施した上で、PFI法に基づく実施方針の策定・公表、特定事業の選定・公表した後、事業者の公募に向けた手続きに着手する。 ・令和2年度は、公募に係る事業提案を受け、事業審議会における審議結果を踏まえ選定された事業者と特定事業契約を締結し、同契約に基づき事業に着手する。</p>					



内部評価結果	
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

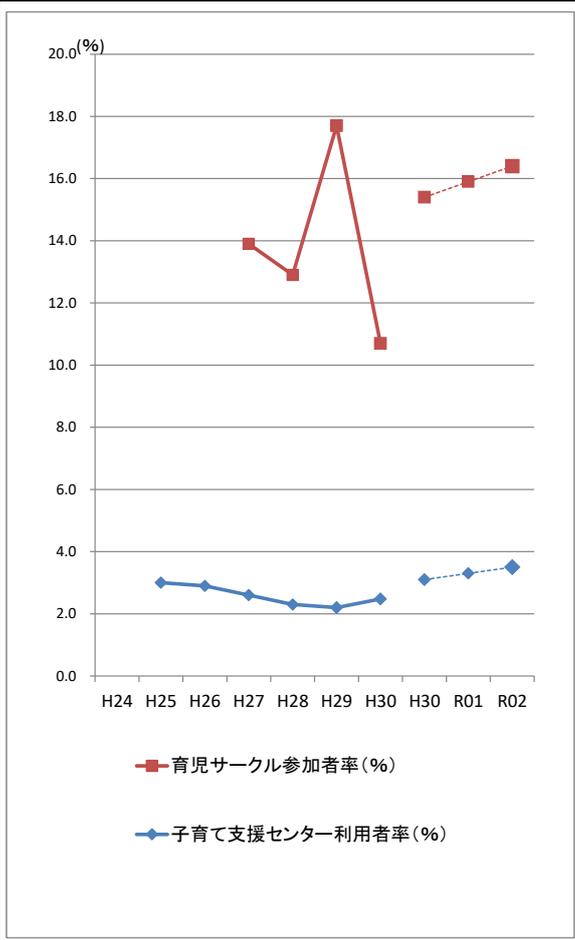
外部評価（2次評価）			
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な 意見	・トライアルステイについて、就業体験を取り入れることなどを検討されたい。

基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R02目標値】 1.27 ----- 【H27実績】 1.09 【H28実績】 1.11 【H29実績】 1.12

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
5	子育てに関する情報の一体的な発信や総合窓口の設置等により、安心して子育てができる環境を整備し、子育て世帯の定住を維持します。	2019	R01																												
具体的な施策	子育て世帯を支援し、定住を図るため、小児が医療機関を受診した際の自己負担額（保険適用分）を全額助成することにより子育て世帯の経済的負担を軽減します。なお、平成28年度には小学校6年生までだった対象者を中学校3年生まで段階的に引き上げます。 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する子育て世代包括支援センターを設置し、妊産婦等に対し切れ目のない支援を行います。 また、妊娠・出産に対する支援については、妊婦検診助成の内容充実にも努めます。	評価担当部課	保健福祉部 (保険年金課・子ども課)																												
事業名	小児医療費助成事業（市単独分） 子育て世代包括支援事業 児童虐待防止事業 次世代育成支援事業 妊婦健康診査事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f0f0f0;">年度</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">64,274</td> <td style="text-align: center;">62,797</td> <td style="text-align: center;">97.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">65,775</td> <td style="text-align: center;">61,859</td> <td style="text-align: center;">94.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">93,937</td> <td style="text-align: center;">87,287</td> <td style="text-align: center;">92.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R01</td> <td style="text-align: center;">82,406</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">306,392</td> <td style="text-align: center;">211,943</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	64,274	62,797	97.7%	H29	65,775	61,859	94.0%	H30	93,937	87,287	92.9%	R01	82,406			R02				計	306,392	211,943	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	64,274	62,797	97.7%																												
H29	65,775	61,859	94.0%																												
H30	93,937	87,287	92.9%																												
R01	82,406																														
R02																															
計	306,392	211,943	/																												

内部評価（1次評価）						
H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>安心して子育てができる環境を整備することを目指し、主に以下の事業に取り組んだ。</p> <p>(1) 小児医療費助成事業（市単独分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年生までの対象としていた通院医療費の助成を中学校3年生までの対象に拡大した。制度の周知については、市内医療機関へのチラシ・ポスターの配布をはじめ、市広報紙、市HPでの広報により周知を図った。 ・全国一律の小児医療助成制度を国が構築することや現在行われている医療助成による国保会計への減額措置の廃止などについて国に働きかけた。なお、平成30年度から就学前の子どもの医療に関わる減額措置が見直された。 <p>(2) 児童虐待防止事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止のための子育てスキルアップの場を設けるために、育児に関する不安を抱える保護者への対応として、親子のコミュニケーションや子どもの問題行動への対処方法などの子育ての技術を学ぶ、親向けの子育て支援プログラムを委託により実施した。（グループワーク8回開催12名参加、子育てセミナー2回開催50名参加） また、11月の児童虐待防止月間に併せ、子ども虐待防止の象徴であるオレンジリボンをたすきに仕立て、東京都心から横浜市山下公園までリレーしながら、沿道の皆さんに虐待防止を訴えるイベントに、三浦市では三浦海岸から京急久里浜までのコースに参加した。（参加ランナー10名） <p>(5) 子育て世代包括支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、切れ目のない支援を総合的に提供する子育て世代包括支援センターを平成30年6月に設置し、保健師などの専門職等が妊産婦等の状況を把握し、必要に応じて支援プランを作成することにより、妊産婦に対し切れ目のない支援を行い、平成30年度は、電話相談・面談ともに86件で合計で、172件の相談に対応した。 また、市立病院などにおいて、母親の体と心のケア、赤ちゃんの健康状態のチェック及び育児相談等を行う産後ケア事業に取り組み、育児の不安解消につなげた。 <p>(その他) 幼稚園就園奨励費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の就園奨励費は国の制度改正に追いついていない状況にあったので、徐々に追いつくことを目指し取り組んできたが、平成30年度は、第1子及び第2子の奨励費の一部を増額し国制度との格差を解消した。 <p>(その他) 母子教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で活動している育児サークルからの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士などを派遣し、相談などの支援を行った。また、希望するサークルには、健診などで勧誘のPRの場を提供するとともに、市HP・チラシにより周知を図った。 					
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果					
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
	1	小児医療費助成事業（市単独分）	中学校3年生以下の対象者への医療証の交付：99.3%	2	児童虐待防止事業	啓発活動実施：1回 プログラムの実施：1回
	3	次世代育成支援事業	審議会の開催：1回	4	妊婦健康診査事業	該当妊婦の健診受診率：88.6%
5	子育て世代包括支援事業	子育て世代包括支援センターの設置：1箇所 妊娠届出書提出妊婦への面接・電話などによる相談支援：67.2%	6			

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	子育て支援センター利用者率(%)	備考	育児サークル参加者率(%)	備考		
H24	-	実績値	-	実績値		
H25	3.0	実績値	-	実績値		
H26	2.9	実績値	-	実績値		
H27	2.6	実績値	13.9	実績値		
H28	2.3	実績値	12.9	実績値		
H29	2.2	実績値	17.7	実績値		
H30	2.5	実績値	10.7	実績値		
H30	3.1	目標値	15.4	目標値		
R01	3.3	目標値	15.9	目標値		
R02	3.5	目標値	16.4	目標値		
達成状況	×		×			
KPIの分析	<p>・KPI①は、年間の子育て支援センター開催日数に0～2歳児総数を乗じた数値を分母とし、そのうちセンターを利用した年間延べ子ども数を分子とした比率である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度比で0.3ポイントの増加となった。 ・平成30年度の0～2歳児総数は589人で前年度比21人の減少となり、センターを利用した年間延べ子ども数は3,780人で前年度比44人の増加となった。 ・なお、センターの年間開催日数は前年度と同じ259日であった。 <p>・KPI②は、0～2歳児総数のうち育児サークルに参加した子ども（実数）の比率である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度比で7ポイントの減少となった。 ・平成30年度は、0～2歳児総数は589人で前年度比21人減少、育児サークル参加の子ども数は、育児サークルの数が6サークルから5サークルに減少したこともあり、63人で前年度比45人減となった。 					
	<p>（※H30からR02の数値（点線）は、目標値となります。）</p>					
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>15歳未満の子どもの数は減少しており、少子化に歯止めをかけることが課題となっている。このため、出生率の増加や子育て世代の転入につながるような総合的な施策が必要であり、子育て施策についての他の自治体との格差解消やきめ細やかな子育て支援を実施している。</p> <p>（1）小児医療費助成事業（市単独分） 令和元年度は、平成30年度に拡大した中学校3年生までの通院医療費の助成を継続する。今後も制度の周知に努めるとともに、全国一律の小児医療助成制度を国が構築することや現在行われている医療助成による国保会計への減額措置の更なる見直しなどについて国に働きかけていく。</p> <p>（5）子育て世代包括支援事業 令和元年度は、妊娠期から子育て期にわたるまでのニーズに対して総合的相談支援を提供し、妊産婦に対して切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターにおいて、子育て全般、妊娠・出産の悩み相談や母子保健サービスの紹介等を行い、子育て世代が妊娠・出産・子育てのそれぞれの時期に合ったサービスが利用できるよう寄り添っていく。また、上宮田小羊保育園に併設の子育て支援センターや市内で活動している育児サークルの情報を提供し参加を呼び掛けていく。さらに、出産後の母子を支援する産後ケア事業を実施する。また、新たに産後の健康診査費用の一部を助成し、育児のサポートを充実する。</p> <p>（その他）幼稚園就園奨励費補助事業 令和元年度も、国制度に基づいた補助を行う。なお、令和元年10月以降は、全ての子どもの月額25,700円までの保育料を無償化する。</p> <p>（その他）母子教室事業 令和元年度も市内で活動している育児サークルからの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士などを派遣し支援を行う。また、各育児サークルに対するアンケート調査を実施し、KPI向上に寄与するニーズ等を把握し支援につなげる。</p>					
	<p>（※H30からR02の数値（点線）は、目標値となります。）</p>					



内部評価結果	
施策 の 評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）			
施策 の 評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの利用率向上の取組について、育児サークルを新規に作る働きかけも行うと良い。 ・児童虐待防止の取組を強化すると良い。 ・子育て支援センターへ通いやすくなるよう、場所やニーズの把握をして対応していく必要がある。

基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R02目標値】 1.27 ----- 【H27実績】 1.09 【H28実績】 1.11 【H29実績】 1.12

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
6	生活実情にあわせた多様な働き方ができる社会づくりのための啓発や保育サービスを通じて、子育て世代のワークライフバランスを実現させます。	2019	R01																												
具体的な施策	子育てをしながらも多様な働き方を実現できる社会づくりのため、(仮称)ファミリーサポートセンター及び(仮称)病後児保育施設を平成31年度までに設置します。また、放課後児童クラブの運営に対する補助や男女共同参画社会についての研修・啓発を行います。	評価担当部課	保健福祉部 (子ども課) 市民部 (市民協働課)																												
事業名	放課後児童健全育成事業 (仮称)病後児保育事業 (仮称)ファミリーサポートセンター事業 保育・教育環境充実事業 男女共同参画推進事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f0f0f0;">年度</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td style="text-align: center;">27,496</td> <td style="text-align: center;">27,152</td> <td style="text-align: center;">98.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td style="text-align: center;">36,731</td> <td style="text-align: center;">36,582</td> <td style="text-align: center;">99.6%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td style="text-align: center;">46,766</td> <td style="text-align: center;">46,163</td> <td style="text-align: center;">98.7%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td style="text-align: center;">52,895</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">163,888</td> <td style="text-align: center;">109,897</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	27,496	27,152	98.7%	H29	36,731	36,582	99.6%	H30	46,766	46,163	98.7%	R01	52,895			R02				計	163,888	109,897	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	27,496	27,152	98.7%																												
H29	36,731	36,582	99.6%																												
H30	46,766	46,163	98.7%																												
R01	52,895																														
R02																															
計	163,888	109,897	/																												

内部評価（1次評価）

H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>(1) 放課後児童健全育成事業 ・留守家庭児童の放課後における健全な育成を図るため、市内の4クラブの運営に対して補助を行った。また、三浦市放課後児童クラブ連絡協議会からの要望により、放課後児童クラブひまわりの移転先を決定した。</p> <p>(2) (仮称) ファミリーサポートセンター事業 ・子どもの預かり等の多様なニーズへの対応を図るため、子どもの育児や保育に理解と熱意のある方と子育て中の主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい方と援助を行いたい方の連絡調整を行う (仮称) ファミリーサポートセンターの設置を決定した。</p> <p>(3) (仮称) 病後児保育事業 ・保護者が就労している場合等において、児童が病気の回復期で、かつ、集団保育が認められないときに一時的に行う (仮称) 病後児保育の設置について検討した。</p> <p>(5) 男女共同参画推進事業 ・男女共同参画社会の実現のために、ワークライフバランス、職場環境の改善等をテーマとした研修会を開催し、啓発活動を行った。また、令和2年度をもって満了する「みうら男女共同参画プラン（改訂版）」の改訂に向け、現計画の評価の手法等について意見交換を行うため、懇談会を開催した。配偶者からの暴力等についての女性相談を毎月1回実施し、専門相談員による助言及び指導を行うとともに、必要に応じた相談者の一時保護等の支援を行った。</p> <p>(その他) 児童保育実施事業 ・子育てをしながらも多様な働き方を実現できる社会づくりのために、国の子ども・子育て支援新制度のスタートに伴い位置づけられた保育園での保育の必要性を認定する就労時間の基準について、保護者のニーズを考慮し、県下で一番低い短時間となる36時間以上を継続した。</p>
-------------------	--

構成事業の平成30年度の主な取組と成果

No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	放課後児童健全育成事業	運営補助：4クラブ	2	(仮称) ファミリーサポートセンター事業	事業化検討（事業者募集の条件設定等）：1件
3	(仮称) 病後児保育事業	事業化検討（事業者募集の条件設定等）：1件	4	保育・教育環境充実事業	補助金交付：7件
5	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会に関する研修会の開催：3回 (仮称) 男女共同参画プランに関する懇談会の開催：2回	6		

K P I の進捗状況							
年	K P I ①		K P I ②		K P I ③		K P I 推移グラフ
	未就学児・児童をもつ成人女性の就業率（2世代（親子）世帯に限る）（%）	備考					
H24		- 実績値					
H25		- 実績値					
H26	29.7	実績値					
H27	29.1	実績値					
H28	31.0	実績値					
H29	31.9	実績値					
H30	33.3	実績値					
H30	34.0	目標値					
R01	35.0	目標値					
R02	36.0	目標値					
達成状況	×						
K P I の分析	<p>・ KPIは、2世代（親子）世帯の未就学児・児童を持つ成人女性のうち、常時就業している女性（所得が年38万円以上ある人）の数値である。</p> <p>・ 前年度比較+1.4ポイントとなる。</p> <p>・ 分母分子は、平成30年度は、母数1744人で前年度比60人の減少、対象580人で前年度比3人の増加である。</p>						
K P I 達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>(1) 放課後児童健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、放課後児童クラブひまわりの移転先である初声小学校普通教室の改修費用を補助する。なお、三浦市子ども・子育て支援事業計画の行動計画では「ニーズに応じ、令和元年度を目途に実施個所の増加を目指します。」としているが、支援の単位（クラス）増や小学校適正配置の状況も勘案し、放課後児童クラブの実施個所数を決定する。 <p>(2) (仮称) 病後児保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、子育てを支援するために病後児保育所の設置について、事業者募集の条件設定等の事業化に向けた検討を進める。 <p>(3) (仮称) ファミリーサポートセンター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、子育てを支援するために、子ども課においてファミリーサポートセンターを直営で運営する。また、委託に向けた検討を行う。 <p>(その他) 児童保育実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月以降、非課税世帯の0歳から2歳児までと、全ての3歳児から5歳児までの子どもの月額37,000円までの保育園の保育料を無償化する。 <p>(5) 男女共同参画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランスの向上のための情報発信を行うと共に、女性相談、研修会等を通じ啓発に努める。また、令和2年度に満了する「みうら男女共同参画プラン（改訂版）」の改定作業を進めるため令和元年度において「(仮称) 第3次みうら男女共同参画プラン策定委員会」を設置し骨子案の策定等に取り組む。 						

内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）			
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブについては、小学校適正配置と並行して検討されたい。 ・保育園の無償化に伴い、入所の対策を検討されたい。

基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R02目標値】 1.27 ----- 【H27実績】 1.09 【H28実績】 1.11 【H29実績】 1.12

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
7	結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し、出会いの創出等を通じ、結婚の希望をかなえる支援を行います。	2019	R01																												
具体的な施策	県内市町村の中で低い水準にある有配偶率を高めるため、結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し、神奈川県との結婚支援事業と連携し、関連団体や企業等により構成する実行委員会が行う出会いの機会創出を支援します。	評価担当部課	政策部 (政策課)																												
事業名	結婚支援事業	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #fce4ec;">年度</th> <th style="background-color: #fce4ec;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #fce4ec;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #fce4ec;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R01</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>		年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	0	0	-	H29	3	3	100.0%	H30	2	0	0.0%	R01	3			R02				計	8	3	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	0	0	-																												
H29	3	3	100.0%																												
H30	2	0	0.0%																												
R01	3																														
R02																															
計	8	3	/																												

内部評価（1次評価）					
H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>(1) 結婚支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の有配偶率及び出生率の向上を目指し、結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し出会いの機会を創出するため、商工農水産関連の方、市民活動者等により構成する「三浦市結婚支援実行委員会」を立ち上げ、実行委員会を3回開催し、「みうら婚活ツアー」を1回実施した。また、神奈川県「恋カナ!事業」と連携し、イベントのPRを行った。 1. 実施日：平成31年3月23日 2. 参加者：男性6人（市内在住）、女性10人 3. カップリング：1組 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策No. 3-2の事業であるが、農業後継者対策事業においては、三浦市農業後継者対策実行委員会が従来から実施してきた「アグリdeデート」（男性農業者と女性参加者の交流の場を提供）、「アグリde恋来」（年齢層の高い男性農業者と女性参加者の交流の場を提供）の開催を支援した。 				
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	結婚支援事業	出会いの機会を作るイベント実施：1回	2		
3			4		
5			6		

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	「恋カナ！プロジェクト」と連携した市内イベント数(件/年)	備考					
H24	-	実績値					
H25	-	実績値					
H26	-	実績値					
H27	1	実績値					
H28	1	実績値					
H29	1	実績値					
H30	1	実績値					
H30	2	目標値					
R01	2	目標値					
R02	2	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<p>・恋カナ！ツアー（県主催の婚活ツアー）の実施がなく、神奈川県と連携した市内イベントの実施には至らなかったが、三浦市結婚支援実行委員会を立ち上げ、独自の取組として「みうら婚活ツアー」を1回開催することができた。なお、平成30年度は、委員会立ち上げが10月となり、立ち上げまでに関係団体等との調整に時間を要したため、開催は1回に留まったが、令和元年度は、2回実施予定である。</p>						
KPI今後の改善策・手法	<p>有配偶率の低さについては、様々な要因が考えられるが、市民アンケート結果から、その要因の一つが出会いの機会の不足ととらえている。 有配偶率改善のためには、県の取組や農業関係者への支援に加え、さらに出会いの機会を創出する取組を拡大する必要があるため、三浦市結婚支援実行委員会において、継続的にイベントを開催していく必要がある。 【令和元年度】 ・三浦市結婚支援実行委員会にて、婚活イベントを2回開催する。 【令和2年度以降】 ・三浦市結婚支援実行委員会にて婚活イベントを定着できるよう、先進事例等も参考とし継続的にイベントを開催していく。</p>						
内部評価結果							
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。						
外部評価（2次評価）							
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。		主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・京急のまぐろきっぷ等とのタイアップを検討されたい。 ・カップル成立の特典を検討されたい。 ・カップル成立率向上に向け、お互いを良く知るための時間・機会の提供やサポーターによる支援等の工夫をすると良い。 			

基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R02目標値】 1.27 ----- 【H27実績】 1.09 【H28実績】 1.11 【H29実績】 1.12

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
8	郷土三浦を愛する心を育むため海洋教育の推進等、地域と連携した教育を進めます。 児童・生徒にとってわかりやすく、興味を高める特色のある学習環境を充実し、授業に対する満足度を向上させます。 小中学校の適正な規模及び配置を検討し、教育環境の充実を図ります。	2019	R01																												
具体的な施策	三浦市に住み続け、転出しても戻ってきてもらえるよう郷土三浦への愛着を高めるため、東京大学三崎臨海実験所と連携して開発した教材を活用する三浦らしい海洋教育や、地域、地元団体、民間企業等と連携した地域学習を行います。 分かりやすい授業を行うため、学校教育の実践や研究に対する支援による教員の資質向上や、教育活動に必要な調査研究による指導の充実を図ります。 さらに、学習環境の充実のため、小学校の適正配置について検討し、教育環境適正化方針を策定します。	評価担当部課	教育部 (学校教育課・ 教育総務課)																												
事業名	海洋教育推進等地域連携事業 国際理解教育の推進事業 教育研究所事業 小学校教育環境適正化事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e6e6fa;">年度</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">9,183</td> <td style="text-align: center;">8,625</td> <td style="text-align: center;">93.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">9,480</td> <td style="text-align: center;">7,670</td> <td style="text-align: center;">80.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">11,288</td> <td style="text-align: center;">10,842</td> <td style="text-align: center;">96.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R01</td> <td style="text-align: center;">11,164</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">41,115</td> <td style="text-align: center;">27,137</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	9,183	8,625	93.9%	H29	9,480	7,670	80.9%	H30	11,288	10,842	96.0%	R01	11,164			R02				計	41,115	27,137	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	9,183	8,625	93.9%																												
H29	9,480	7,670	80.9%																												
H30	11,288	10,842	96.0%																												
R01	11,164																														
R02																															
計	41,115	27,137	/																												

内部評価（1次評価）

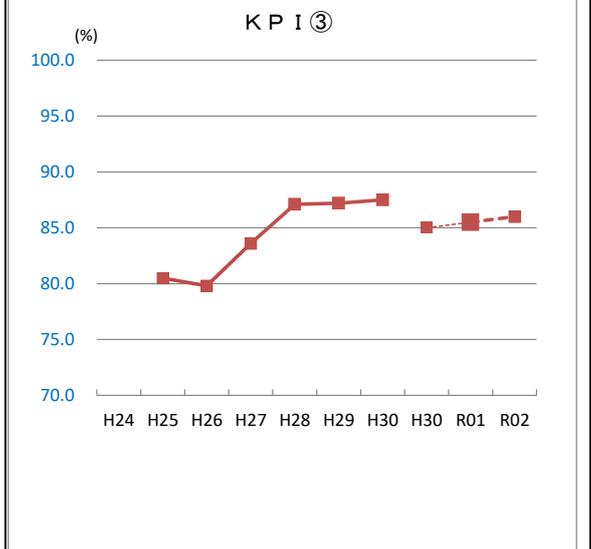
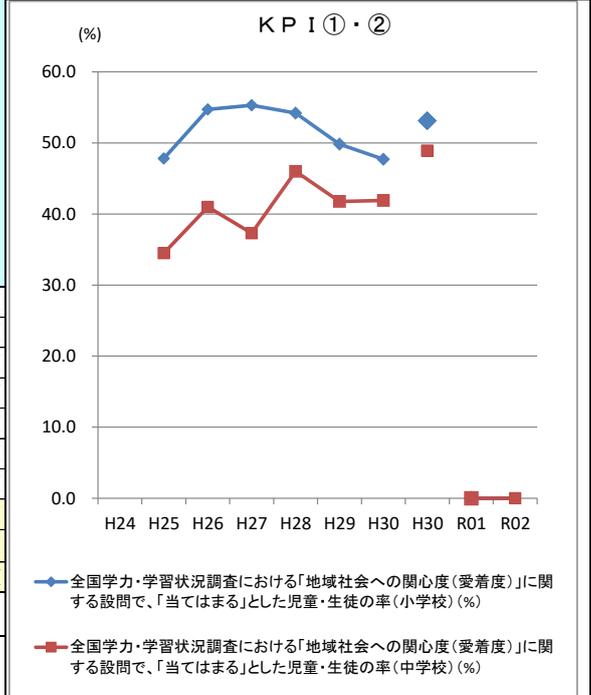
H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>1 KPI①②関連 (1) 海洋教育推進等地域連携事業 ・東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所や（一社）みうら学・海洋教育研究所等の関係機関と連携して、市内全ての小中学校において、三浦の海を活用した海洋教育を推進した。 ・市内各学校の海洋教育実践については、「海洋教育カリキュラム閲覧・投稿サイト」を活用し共有化を図った。 ・特に（一社）みうら学・海洋教育研究所は、海洋教育の事業実践に当たりHUB的な役割を果たし、その支援を受け、「海洋教育写真コンテスト」や「海洋教育の集い」等の事業を実施することができた。 また、地元漁業者や事業者など地域の教育力を活用し、体験活動等に取り組んだ。</p> <p>2 KPI③関連 (2) 国際理解教育の推進事業 ・ウォーナンブル市より国際交流推進英語非常勤講師を2名採用し、市内全小中学校に定期的に配置したことで外国語教育の学習効果を高めた。また、2名は国際交流協会主催の英会話教室の講師を務め、幅広く市民の国際理解を深めた。 ・国際理解教育の推進のために、ウォーナンブル市より短期留学生2名を市内中学校で受け入れ、外国人とのふれあい体験を進めた。 ・さらに、小学校での外国語教育推進のため、教員を対象とした研修会を行ったほか、外国語授業の補助などを行う外国語活動支援員を各小中学校に派遣した。 ・師範授業形式の研修会を実施し目指す授業イメージを共有することで、各教員の外国語教育に係る授業力の向上を図った。</p> <p>(3) 教育研究所事業 ア 学校教育の実践や研究に対応する支援を行い、教員の資質向上の一助とした。 イ 教育活動に必要な調査、研究を行い、地域学習に役立つ資料の作成や更新を行った。 ウ 教職員の教育力向上を図るために、他教育機関から送付されてくる図書を整備を図った。 エ 校長研修会や理科実験、授業改善、コンピュータ、人権教育などの各種研修会を開催し、指導上の諸問題の解明を図るとともに指導力の向上に努めた。 オ 神奈川県より「人権教育推進研究委託事業」及び「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」を受託し、小中学校において講演会や研修会等を実施した。</p> <p>3 その他 (4) 小学校教育環境適正化事業 平成30年度中に三浦市立小学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針を策定する予定であったが、教育委員会会議及び総合教育会議での協議を経て三浦市の学校教育の未来像を掲げる三浦市学校教育ビジョンを次年度に策定し、その中に学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針を盛り込むこととした。</p>
-------------------	---

構成事業の平成30年度の主な取組と成果

No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	海洋教育推進等地域連携事業	海洋教育教材を活用した授業実施：11校 市ホームページでの情報発信：3回 海洋写真コンテストの開催：1回 海洋写真コンテスト優秀作品のみうら市民まつり等での展示：4回 海洋教育の集いの開催：みうら海洋フォーラムの開催1回	2	国際理解教育の推進事業	小学校での外国語授業の実施 英語ボランティア：170日／年 国際交流推進非常勤講師：5日／週 中学校での英語授業実施 国際交流推進非常勤講師：5日／週 外国語教育研修会の実施：2回／年
3	教育研究所事業	教育相談員の配置：40日 市内小中学校での校内研究の実施：11校 学びづくり研修会の実施：21回／年 人権教育研修会の実施：1回／年	4	小学校教育環境適正化事業	学校関係者、地域の有識者等による懇談会の開催：0回 小学校教育環境適正化方針の策定：0件
5			6		

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	全国学力・学習状況調査における「地域社会への関心度(愛着度)」に関する設問で、「当てはまる」とした児童・生徒の率(小学校)(%)	備考	全国学力・学習状況調査における「地域社会への関心度(愛着度)」に関する設問で、「当てはまる」とした児童・生徒の率(中学校)(%)	備考	学校評価に係るアンケートで「授業が分かりやすかった」という評価率(%)	備考
H24	-	実績値	-	実績値	-	実績値
H25	47.8	実績値	34.5	実績値	80.5	実績値
H26	54.7	実績値	41.0	実績値	79.8	実績値
H27	55.3	実績値	37.3	実績値	83.6	実績値
H28	54.2	実績値	46.0	実績値	87.1	実績値
H29	49.8	実績値	41.8	実績値	87.2	実績値
H30	47.7	実績値	41.9	実績値	87.5	実績値
H30	53.1	目標値	48.9	目標値	85.0	目標値
R01	同年国平均値	目標値	同年国平均値	目標値	85.5	目標値
R02	同年国平均値	目標値	同年国平均値	目標値	86.0	目標値
達成状況	×		×		○	
KPIの分析	<p>・目標値、前年度に比べ低い数値となった。</p> <p>・地域社会への関心度に係る設問について、平成30年度は、前年度に比べ(小学校)の数値が低くなったが、(中学校)の数値は高くなった。</p> <p>・なお、平成30年度に追加された質問事項「5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか」に対しては、全国平均71.55に対して、三浦市は72.25と全国平均を上回る結果となっている。</p> <p>・今後「みうら学」「海洋教育」の実践において、地域教育力の活用等を図り、将来的な目標達成ができるよう事業展開したいと考える。</p>			<p>・目標値及び前年度の数値を上回る評価があった。</p> <p>・市や県による教職員研修や市学校教育研究会や校内研究に加えて、平成28年度から30年度の3年間、県委託事業として「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」を受託し、授業研究を行ってきた。これらの成果が徐々に表れてきたと考える。</p> <p>・また師範授業形式の研修会を行うことで、わかりやすい授業づくりにつながったと思われる。</p>		

KPI推移グラフ



(※H30からR02の数値(点線)は、目標値となります。)

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	1 KPI①②関連 (1) 海洋教育推進等地域連携事業 地域社会への関心度向上のため、令和元年度以降も引き続き、「みうら学」「海洋教育」の取組に注力していく。これまでの行ってきた「みうら学・海洋教育研究所」や東京大学臨海実験所等の関係機関と連携した取組に加え、地元漁師や農家、事業者など地域教育力を活用した授業づくりを支援し、より地域に根ざした教育を展開していきたい。 令和元年度も、各学校における海洋教育カリキュラムについて、「海洋教育カリキュラム閲覧・投稿サイト」を活用することで授業実践の共有化作業を行うとともに、これまで実施してきた海洋教育の取組についても、整理し再発信することで、発展・定着を図りたい。 2 KPI③関連 (2) 国際理解教育の推進事業 令和2年度の小学校英語の教科化に向け、ウォーナンブル市から招聘している国際交流推進英語非常勤講師2名体制を継続するとともに、外国語活動支援員を1名増員し、体制強化を図る。 (3) 教育研究所事業 令和元年度も県より「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」を受託することが決定したため、各学校において大学教授等の講師を招聘し、研修会等を実施するとともに積極的に市内で共有していく。 令和2年度以降は、これまでの研究の成果を基に、市教委主催の研修会に加え、県等の研修会を活用しながら、教職員の資質向上を図りたい。 3 その他 (4) 小学校教育環境適正化事業 令和元年度は、三浦の良さを生かしたつながりと深まりある小中一貫教育を推進する三浦市学校教育ビジョンを策定し、小中連携教育を進めるとともに、1中学校区1小学校の教育体制をつくることを目指すため三崎地区及び南下浦地区に地域協議会準備会を立ち上げる。 令和2年度は地域協議会準備会で一定の研究が進んだのちに開始する地域協議会で検討を通じ地域理解を深め地域の意見を聴取し事業を進める。
	内部評価結果
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育を中心とした、いわゆる「まちの先生」から授業を受けることに学びの大きな成果がある。 ・新聞を軸にした地域学習を検討されたい。 ・海洋教育などについて、極力事務的な負担を学校が軽減できるよう、ハブ的な機能を強化して、学校が取り組みやすくすると良い。 ・教職員の資質向上にも三浦市独自に取り組むと良い。 ・KPIが未達成の原因を分析して改善に取り組んでもらいたい。 ・真珠の取組を全市に広げると良い。

基本目標	基本目標4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。 また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った住みよい地域づくりを行います。	数値目標	市民アンケートで三浦市を「住みよい」と回答した人の割合	【R02目標値】 52.2% ----- 【実績】 R01アンケートにて集計

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R01																												
9	病気の予防、早期発見機会の充足及び健康寿命の延伸のため、各種健診（検診）受診率等を向上させます。	2019	R01																												
具体的な施策	未病を改善する事業、がん検診事業、成人歯科健康診査事業、健康診査事業、特定健康診査等事業などによる病気の予防・健康増進策により市民の健康力を増進します。	評価担当部課	保健福祉部 (健康づくり課・ 保険年金課・ 子ども課) 市立病院 (医事課)																												
事業名	未病を改善する事業 がん検診事業 成人歯科健康診査事業 健康診査事業（一般） 特定健康診査等事業 健康診査事業（国保） 中学生に対するピロリ菌対策事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #fce4ec;">年度</th> <th style="background-color: #fce4ec;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #fce4ec;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #fce4ec;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">132,078</td> <td style="text-align: center;">113,326</td> <td style="text-align: center;">85.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">134,127</td> <td style="text-align: center;">114,956</td> <td style="text-align: center;">85.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">125,382</td> <td style="text-align: center;">116,811</td> <td style="text-align: center;">93.2%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R01</td> <td style="text-align: center;">120,738</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">512,325</td> <td style="text-align: center;">345,093</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	H28	132,078	113,326	85.8%	H29	134,127	114,956	85.7%	H30	125,382	116,811	93.2%	R01	120,738			R02				計	512,325	345,093	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
H28	132,078	113,326	85.8%																												
H29	134,127	114,956	85.7%																												
H30	125,382	116,811	93.2%																												
R01	120,738																														
R02																															
計	512,325	345,093	/																												

内部評価（1次評価）

H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>(1) がん検診事業 【対象者：40歳以上の市民（年齢、性別、がん検診の種類によって異なる。）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に三浦市医師会会員個別検診機関への受診勧奨協力要請や健康診査・がん検診の普及啓発を目的とした街頭キャンペーンを地域のスーパーマーケットや駅前等で実施し、市主催のイベント事業では検診受診勧奨を行った。また、若い年齢層の受診行動につながるよう自己負担金の見直しを行った。
	<p>(2) 成人歯科健康診査事業 【対象者：20歳以上の市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団健診会場で7回、乳幼児健診の会場で12回実施した。
	<p>(3) 健康診査事業（一般） 【対象者：後期高齢者医療保険加入者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なごみ健診を国保特定健診と同じ内容で実施した。
	<p>(4) 特定健康診査等事業 【対象者：国民健康保険加入者で40歳から74歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり課と合同で街頭キャンペーンを実施した。（いなげや・市民まつり） ・神奈川県国保連合会の「特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業」を活用した。 ※国保連から派遣される在宅保健師が特定健診、保健指導の勧奨をしている。 ・保健衛生委員に対し、特定健診受診勧奨の協力依頼しチラシの配布やポスター掲示を行った。 ・未受診者への受診勧奨はがき（2回で8,000件）を発送した。抽出では、KDBシステムを活用し、糖尿病の一人当たりの医療費が高い地区等にターゲットを絞り発送した。 ・市内スーパー等へのポスターの掲示依頼を行った。 ・平成30年度より三浦市医師会では、県医師会等が作成した啓発パンフレットを市内医療機関へ配架していただいております、また、三浦市医師会を通じて三浦市薬剤師会にパンフレットの配架を依頼していただいた。
	<p>(5) 特定健康診査事業（国保） 【対象者：国民健康保険加入者で35歳から74歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日人間ドック事業の開始時期を6月から5月に変更し期間の拡充を図った。
	<p>(6) 中学生に対するピロリ菌対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコバクター・ピロリ菌感染によって発生する可能性のある胃がんを始めとした消化器疾患の発生を防ぐために、中学2年生を対象とした検査を実施するとともに、陽性者には治療費用の一部を補助した。
	<p>(7) 未病を改善する事業</p> <p>講師を招いて勉強会を開催し市民210名の参加を得て、特に食生活の改善が及ぼす未病改善効果について勉強した。また、市職員が地域に出張して健康相談や教育事業を行うための健康測定機器等を購入して、年間15回地域に出向いた。</p> <p>神奈川県が主催する未病サミットにも参加し、他の自治体や企業等との情報交換の機会を得た。</p> <p>(その他・市立病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診受託医療機関として、受診者の受診日の希望には可能な限り対応することで、受診しやすい環境を提供するとともに、健診結果の送付についても自身の健康に関する意識が低下しないように、早目に送付するよう心がけた。

構成事業の平成30年度の主な取組と成果

No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	がん検診事業	受診者 大腸がん：3,025人 肺がん：3,341人 乳がん：1,259人 子宮頸がん：1,637人 胃がん：665人	2	成人歯科健康診査事業	受診者数：428人
3	健康診査事業（一般）	受診者数：1,605人	4	特定健康診査等事業	特定健康診査 23.6%(速報値) 特定保健指導 20.9%(速報値)
5	健康診査事業（国保）	人間ドック受検者：年間539人	6	中学生に対するピロリ菌対策事業	一次検査の実施率：83.8%
7	未病を改善する事業	出張型健康相談15回開催、未病を改善する勉強会1回開催（210名）ヘルシーメニュー配布	8		

K P I の進捗状況							
年	K P I ①						備考
	大腸がん検診 (%)	肺がん検診 (%)	乳がん検診 (%)	子宮がん検診 (%)	特定健診 (%)	特定保健指導 (%)	
H24	-	-	-	-	-	-	実績値
H25	15.1	14.8	12.8	14.0	19.0	42.2	実績値
H26	16.8	17.2	10.9	12.7	19.8	32.2	実績値
H27	20.1	19.9	13.1	13.7	21.4	29.4	実績値
H28	9.8	10.6	8.3	8.3	22.1	28.2	実績値
H29	9.2	10.0	7.8	8.0	22.3	32.3	実績値
H30	9.8	10.8	7.7	8.3	23.6	20.9	実績値
H30	10.2	11.2	8.5	9.0	24.0	30.0	目標値
R01	10.4	11.4	8.7	9.2	26.0	32.0	目標値
R02	10.6	11.6	8.9	9.4	28.0	34.0	目標値
達成状況	×	×	×	×	×	×	
年	K P I ②					KPIの分析	
	人間ドック (件)	脳ドック (件)	各種がん検診 (件)	その他健診 (検診) (件)	備考		
H24	-	-	-	-	実績値	KPI① がん検診事業については平成30年度は、全体的に微増する結果となった。 特定健診については、H29度（法定報告確定値）は、10,269人に対し2,282人、H30度（法定報告速報値）は、9,758人に対し2,301人が受診した。対象者総数は、減っているが受診者数、ポイントは伸びている。 特定保健指導は、H29度は83人（速報値40人）に対しH30度速報値54人である。今後、人数は伸びる予定である。※特定健診、特定保健指導のH30の値は速報値（9月以降に確定） KPI② 脳ドックで使用する医療機器（MRI）を更新したことにより、2か月半（1/11～3/31）脳ドックを実施できなかったため、脳ドックの受診者数が減少した。また、ドックや検診の申込みがあった際には、他の検診なども積極的に進めた。	
H25	705	538	1,305	2,693	実績値		
H26	769	390	1,236	3,127	実績値		
H27	795	483	1,375	3,289	実績値		
H28	945	410	1,428	3,247	実績値		
H29	929	389	1,434	3,595	実績値		
H30	1,003	334	1,799	3,525	実績値		
H30	890	440	1,384	3,195	目標値		
R01	900	444	1,394	3,225	目標値		
R02	910	448	1,404	3,255	目標値		
達成状況	○	×	○	○			

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>(1) がん検診 受診率向上のための取組として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん・乳がん検診のクーポン発送を早め受診機会の拡大を図る。 ・健康診査・がん検診の普及啓発を目的とした街頭キャンペーンをさらに充実して行う。 ・医師会より提案のあった、限定した対象者に大腸がん検査キットの送付について検討したが、実現には至らなかった。今後も医師会との連携協力のもと、受診の利便性などを検討していく。 <p>(4) 特定健康診査事業 ＜従前からの取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診勧奨ハガキの発送や個別検診機関への受診勧奨協力要請、健康づくり課と健康診査・がん検診の普及啓発を目的とした街頭キャンペーンなどにより受診勧奨を行う。 ・神奈川県国民健康保険団体連合会の「特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業」を活用し、特定健診の受診率及び特定保健指導の終了率向上に努める。 ・保健衛生委員に対し、特定健診受診勧奨の協力依頼を行う。 ・三浦市医師会へ受診勧奨の協力要請を引続き行う。 ・未受診者への受診勧奨はがき等による受診勧奨を行う際には、KDBシステムなどを活用し、年代や性別、地区別の分析結果によりターゲットを絞るなどして効果的に行う。 <p>＜新たな取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳から50歳の若い年齢層が受診率が低い傾向にある。勧奨はがき、チラシ等にQRコードを記載することにより、スマートフォンから市HPの特定健診の詳細な内容が見れるようにする。 ・三浦消防署のデジタルサイネージを活用し、受診の勧奨を行う。 <p>(5) 特定保健指導・糖尿病重症化予防の取組 保健指導・糖尿病重症化予防の対象者が関心を持ち参加できるように、健康測定・血液検査などのメニューを組み合わせた設定を考える。</p> <p>(6) 中学生に対するピロリ菌対策事業 ・今後発生する可能性のある疾患の発症を防ぐために、3年間のモデル事業として令和元年度まで実施する予定であるが、今年度、実施結果についての評価を子ども課、健康づくり課、医師会で検討し、事業の継続を判断していく。</p> <p>(7) 未病を改善する事業 ・神奈川県知事が提唱する「未病を改善する」施策について、平成29年度より三浦市でも市民の健康寿命を増進する取組として実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の原因のうち、特に生活習慣に起因する疾病については、自覚症状がないまま進行していくことが多いため、生活習慣を変えなければという「気づき」の機会として、自己の健康状態を評価できるように健康測定機器を購入し、それを活用した相談機会の提供を継続していく。 <p>(その他・市立病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き受診日の希望に添えるよう可能な範囲で調整を行う。また各種健診（検診）のPRを広報紙「三浦市民」、三浦市のホームページ等でしていく。 ・健診（検診）内容などニーズの把握や要望を整理し、可能な範囲で健診（検診）内容の改善に努め、受診者の増加を図る。また、近隣の医療機関に対し、新規に導入したMRIや骨密度測定器のPRをしていく。
	内部評価結果
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・40～50代の若年層の受診率が低いことから、QRコードを含め、SNS等新たな取組をすると良い。 ・市立病院は骨密度やMRIの機械が新しくなったことを受けて脳ドックのPRを行うと良い。 ・ピロリ菌事業については、治療を受けるかどうかの判断が必要なため、丁寧な説明を引き続き行うと良い。 ・啓発をしていくには勤め先の環境を変えるところから強化する必要があり、国の機関に求めると良い。

基本目標	基本目標 4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。 また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った住みよい地域づくりを行います。	数値目標	市民アンケートで三浦市を「住みよい」と回答した人の割合	【R02目標値】 52.2% ----- 【実績】 R01アンケートにて集計

施策No.	基本的方向	評価実施年度	2019	R01		
10	高齢者が在宅のまま安心して生活を営める環境を整備するとともに、適切な介護認定と介護予防の普及・啓発及び在宅介護サービスの充実等により、施設入所を必要とする要介護者の増加を抑制します。	評価担当部課	保健福祉部 (高齢介護課)			
具体的な施策	介護施設入所必要者割合を抑制するため、高齢者を介護する家族等の精神的・経済的支援を目的とした家族介護教室や介護用品購入助成事業などの実施及び、高齢者と家族等が安心して地域で暮らすことができるよう、はり・きゅう・マッサージ助成券及び寝たきり高齢者出張理容・美容サービス利用券の助成などを行います。 また、元気な高齢者を増やすため、気軽に集い介護予防に取り組むことができる元気アップ教室やふれあいサロン事業の充実などを行います。					
事業名	高齢者福祉サービス事業 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業 家族介護支援事業 特別養護老人ホーム整備事業（※H29で事業終了） 地域介護予防活動支援事業 介護予防普及啓発事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			H28	671	557	83.0%
			H29	20,820	19,379	93.1%
			H30	15,458	13,706	88.7%
			R01	15,345		
			R02			
			計	52,294	33,642	

内部評価（1次評価）	
H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>(1) 高齢者福祉サービス事業 ・ケアマネジャー等高齢者支援に携わる方への広報に取り組んだが、「高齢者はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業」及び「寝たきり高齢者出張理容・美容サービス業務」の利用枚数は、昨年度と比較すると、ほぼ同数であった。</p> <p>(2) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業 ・平成29年度策定した平成30年度から令和2年までの3年間の第7期三浦市高齢者保健福祉計画・三浦市介護保険事業計画について、進捗管理を行った。</p> <p>(3) 家族介護支援事業 ・在宅で高齢者を介護している方を支援するため、要介護4または5で前年度市民税非課税の方を介護している家族の方に、介護用品購入時に使用できる助成券を年最大2枚、申請により交付した。 ・利用枚数については、昨年度と比較し、約26%の伸びであったが、ケアマネジャー等高齢者支援に携わる方への広報に取り組んだ結果と想定している。</p> <p>(4) 特別養護老人ホーム整備事業 ・市内の特別養護老人ホームの数は、平成29年度3から5へと増となったが、特別養護老人ホームの待機者数は、新設という情報による新規応募の増加により減少には至らなかった。</p> <p>(5) 地域介護予防活動支援事業 ・要介護者の増加を抑制するため、介護予防支援に取り組み、「元気アップ教室」や「ふれあいサロン事業」を開催した。なお、「元気アップ教室」は、高齢者からの需要が高く、地区によっては、定員を満たしている状態となっている。</p> <p>(6) 介護予防普及啓発事業 ・心身の虚弱状態にある高齢者を早期発見する手法として、平成29年度より取り組んだフレイルチェックは、市内でのフレイルトレーナー及びフレイルサポーターが主体となって行われた。</p>

構成事業の平成30年度の主な取組と成果

No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	高齢者福祉サービス事業	はり・きゅう・マッサージ助成券利用枚数：7枚 寝たきり高齢者出張理容・美容サービス利用券利用枚数：34枚	2	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	第7期計画進行管理のための介護保険事業推進委員会を2回開催した。
3	家族介護支援事業	家族介護教室の開催：4回 介護用品購入助成：72回 徘徊高齢者SOSネットワーク新規登録者：6人 認知症サポーター養成講座：9回 家族会の開催：2回	4	特別養護老人ホーム整備事業	(※H29で事業終了)
5	地域介護予防活動支援事業	元気アップ教室の開催：560回 ふれあいサロンの実施：161回 傾聴ボランティア養成講座の開催：4回 介護予防サポーター研修会の開催：2回	6	介護予防普及啓発事業	いきいきシニア講座の開催：3回 脳の健康教室の開催：68回

K P I の進捗状況							
年	K P I ①		K P I ②		K P I ③		K P I 推移グラフ
	介護施設への入所必要者率 (入所者数+入所待機者数)÷介護被保険者数 (%)	備考	要介護等の状態でない元気な高齢者率 (%)	備考			
H24	-	実績値	-	実績値			<p>K P I ①</p>
H25	3.9	実績値	84.0	実績値			
H26	3.9	実績値	83.7	実績値			
H27	3.6	実績値	83.2	実績値			
H28	3.3	実績値	82.7	実績値			
H29	3.4	実績値	82.6	実績値			
H30	3.7	実績値	81.8	実績値			
H30	3.3	目標値	83.5	目標値			
R01	3.3	目標値	83.7	目標値			
R02	3.3	目標値	84.0	目標値			
達成状況	×		×				
K P I の分析	<p>KPI① 給付実績期間（3月から2月）における1ヶ月平均の第1号被保険者数は平成29年度に16,191人であったのに対し、平成30年度は16,372人で181人増加した。 これに対し、介護予防に係る様々な取組をしたが、給付実績期間（3月から2月）の1ヶ月平均の施設サービス利用者数は平成29年度に421人であったのに対し、平成30年度は469人で48人増加した。 また、特養の入所待機者数は、平成29年度平均126人であったのに対し、平成30年度平均137人と11人増加した。 このことにより、介護施設の入所必要者率は平成29年度と比較し、0.3ポイント増加した。</p> <p>KPI② 年度内（4月から3月）における1ヶ月平均の第1号被保険者数は、平成29年度は16,209人であったのに対し、平成30年度は16,384人と175人増加した。 これに対し、第1号被保険者における要介護（要支援）認定者数の年度内（4月から3月）における1ヶ月平均は、平成29年度2,826人であったのに対し、平成30年度2,977人と151人増加した。 このことにより、元気な高齢者率は、平成29年度と比較し、0.8ポイント減少した。 なお、平成25年度から平成27年度までの3年の実績値について、KPI①の指標の統一性を持たせるため修正した。</p>						<p>K P I ①</p>
	<p>KPI②</p>						
K P I 達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>本市の高齢化率は、毎年1から1.2ポイントずつ上昇している。内訳としては、75歳以上の後期高齢者の割合が伸びている。また、特養や老健などの施設サービスや、有料老人ホームなどの居住系サービスの受給率は、全国や県の受給率を上回っている状況である。</p> <p>(5) 地域介護予防活動支援事業 ・この現況を踏まえると、介護予防事業の取組みは重要であり、この取組みの1つである元気アップ教室は、市民の協力により、平成31年4月から1会場増えた。今後も参加者を増やすためにも会場数増加に取り組んでいく。</p> <p>(6) 介護予防普及啓発事業 平成29年度から取り組んだフレイルチェックについては、地域へ出向き開催することにより、市民に対して、介護予防の重要性を普及して行く。 これに加え、住み慣れた地域で暮らして行くためには、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「看護小規模多機能型居宅介護」についても、必要な取組みなので、引き続き事業者の公募を継続し、事業の開始を目指す。</p> <p>・なお、令和元年度は、フレイルチェックの普及について、三浦市社会福祉協議会が新規開拓、市がフォローアップと役割分担し、協働して行っていく。</p>						<p>(※H30からR02の数値（点線）は、目標値となります。)</p>

内部評価結果	
施策 の 評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）			
施策 の 評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・元気アップ教室・介護予防教室について、新しい会場の開拓を含めさらなる回数増を図りたい。 ・フレイルチェックでは、オーラルフレイルチェックも含めた介護予防の取組を行うと良い。

基本目標	基本目標4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。 また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った住みよい地域づくりを行います。	数値目標	市民アンケートで三浦市を「住みよい」と回答した人の割合	【R02目標値】 52.2% ----- 【実績】 R01アンケートにて集計

施策No.	基本的方向	評価実施年度	2019	R01		
11	市有財産について管理コストと貸付料等収入とのバランスがとれた適切で効率的な管理・運用を実践します。	評価担当部課	総務部 (財産管理課)	政策部 (市長室)		
具体的な施策	公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適切で効率的な管理・運営を実施します。 また、公共施設等総合管理計画を踏まえ、個別施設の管理計画を順次策定します。 さらに、城山地区（三崎中学校跡地及びその周辺に所在する公有財産）の利活用に向けた取組を進めます。					
事業名	公共施設等総合管理計画推進事業 城山地区利活用検討事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			H28	7,170	7,170	100.0%
			H29	0	0	-
			H30	0	0	-
			R01	0		
			R02			
			計	7,170	7,170	

内部評価（1次評価）					
H30年度 （実績） の主な 取組と 工夫	<p>（1）公共施設等総合管理計画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画を基に、庁舎等施設の適切な維持管理に努めたが、本計画に定めた方針の進捗状況についての評価の実施には至らなかった。 また、令和2年度までの目標数値を定めた個別施設計画の策定について、手法等の検討を行った。 <p>（2）城山地区利活用検討事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年5月18日に採択された国交省の地域プラットフォーム形成支援を活用し、地域における産官学金で構成する地域プラットフォームを4回開催した。 地域プラットフォームでは、三浦市の課題である①城山地区②二町谷地区③三崎高校跡地の3事業の利活用について意見を交わした。 国交省委託により派遣されたコンサルタントにより簡易的なサウンディング調査を行い、城山地区の事業化可能性についてヒアリングを行った。 				
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	公共施設等総合管理計画推進事業	個別施設計画の策定：1件	2	城山地区利用検討事業	事業スキーム素案の作成：0件
3			4		
5			6		

KPI ①						KPI ②		KPI ③		KPI 推移グラフ
年	各公共施設の管理計画の策定率 (%)	備考								
H24	-	実績値								<p>(※H30からR02の数値 (点線) は、目標値となります。)</p>
H25	-	実績値								
H26	-	実績値								
H27	-	実績値								
H28	-	実績値								
H29	8.1	実績値								
H30	10.8	実績値								
H30	48.0	目標値								
R01	56.0	目標値								
R02	100.0	目標値								
達成状況	×									
KPIの分析	<p>個別施設計画37件中4件の策定をした。(H30目標は12件) 個別施設計画は、公共施設等総合管理計画のアクションプランであることから財産管理課と各施設の所管部署が調整しながら進めていくこととなる。特に普通会計施設については、施設の縮減目標が定められており、その目標に向けて策定する必要があるため、まずは財産管理課にて指針を作成する必要があると考えている。これらの検討に時間を要したためKPI達成に至っていない。</p>									
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>(1) 公共施設等総合管理計画推進事業 ・個別施設計画について、政策部局と打合せを実施し、10月を目途に策定指針を作成する。その後、指針に基づく計画策定の手順について庁内全体へ説明し、順次各施設所管部署と調整しながら策定に取り組んでいく。 また、庁内に会議体を設け計画の進捗状況等について評価を実施し、必要に応じ計画を改定する。</p> <p>(2) 城山地区利活用検討事業 ・令和元年度は、地域プラットフォームを活用して、三崎下町地区や二町谷地区との関わりを踏まえた城山地区の利活用について検討する。また、業務委託により城山地区の利活用方針(案)を作成する。 ・令和2年度以降は、作成した利活用方針(案)に基づき、利活用方針の作成、事業者募集に向けて取り組む。</p>									
内部評価結果										
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。									

外部評価 (2次評価)		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の個別計画については長寿命化計画との整合性も踏まえて策定されたい。

基本目標	基本目標4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。 また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った住みよい地域づくりを行います。	数値目標	市民アンケートで三浦市を「住みよい」と回答した人の割合	【R02目標値】 52.2% ----- 【実績】 R01アンケートにて集計

施策No.	基本的方向	評価実施年度	2019	R01		
12	市内に所在する空き家について、空家対策特措法を踏まえ、対策を行います。	評価担当部課	都市環境部 (都市計画課)			
具体的な施策	空き家の実態調査及び所有者調査の結果を踏まえ、所有者に対して意向調査を行い、空家等対策計画を策定し適正に管理されていない空き家等の対策を行います。 また、空き家バンクを運用します。					
事業名	空き家等対策事務事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			H28	660	659	99.8%
			H29	867	739	85.2%
			H30	861	765	88.9%
			R01	878		
			R02			
			計	3,266	2,163	

内部評価（1次評価）					
H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>・空き家実態調査や意向調査を反映し、市の現状把握や将来検証等を行った上で、空き家等に関する対策を計画的に実施するため、空家等対策協議会を2回開催して「三浦市空家等対策計画（案）」を策定し、平成31年3月29日から令和元年5月7日までパブリックコメントにより意見募集を行った。 今後、空家等対策協議会を開催し、パブリックコメントによる意見について協議した上で、庁議を経て決定していく。</p> <p>・空き家等の活用を図ることを目的とした空き家バンクの運用を行った。登録件数増加策として広報による周知とともに、不動産関係団体への物件協力を依頼し、昨年度中に賃貸用3件、売却用2件の計5件を新規登録し、利用希望者を募集した。</p> <p>・平成30年度中に市民から空き家に対する相談があった件数は計30件であった。これらの各物件について現地調査の上、税務情報や戸籍情報を収集して所有者確認を行い、併せて所有者等に対して指導を実施した。所有者等に対する指導では、文書や電話連絡により適正な管理を促すほか、危険性に応じて改善措置や解体等の実施を要請した。 相続問題や金銭面での負担、高齢化や所有者の問題意識がない等の理由により、文書指導だけでは対応されないケースも多くある中、状況に応じて、所有者等を直接訪問し、問題解決に向けた相談にも応じながら、調整、交渉等を行い、早急な対応を求めた。 空き家に関する相談は、防災、防犯、生活環境等多岐にわたり、所有者等の空き家に対する意向等様々な状況ではあるが、空き家の状態に応じて解体や修繕等の要請や助言を実施してきており、結果として、外壁、屋根、傾き等に問題があり危険性を伴う空き家として把握していた212件のうち、5件が解体に至り、空き家の解消には至らないまでも、危険性のあるシャッターの撤去、敷地内の草刈等の対応が4件実施された。</p>				
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	空き家等対策事務事業	空家等対策計画（案）の策定：1件 ※パブリックコメント実施	2		
3			4		
5			6		

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	適正に管理されていない空き家の対前年度比減少率(%)	備考					
H24	-	実績値					<p>(%)</p> <p>3.0</p> <p>2.5</p> <p>2.0</p> <p>1.5</p> <p>1.0</p> <p>0.5</p> <p>0.0</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H30 R01 R02</p> <p>(※H30からR02の数値(点線)は、目標値となります。)</p>
H25	-	実績値					
H26	-	実績値					
H27	-	実績値					
H28	-	実績値					
H29	1.0	実績値					
H30	2.4	実績値					
H30	1.0	目標値					
R01	1.0	目標値					
R02	1.0	目標値					
達成状況	○						
KPIの分析	<p>上記の取組の結果、適正に管理されていない空き家5件が解体に至り、前年度に把握していた適正に管理されていない空き家212件と比較すると2.4%減少した。</p>						
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>令和元年度 (空家等対策計画の策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見について空家等対策協議会で協議した上で、庁議を経て「三浦市空家等対策計画」を策定していく。 (空き家バンクの運営) ・空き家の減少と定住促進に向けた空き家バンクを継続的に運営するとともに、登録物件の増加に向けて必要に応じて制度の見直しを行い空き家の利活用を実施していく。 (空家等対策協議会の開催) ・空家等対策計画の策定及び特定空家等に対する判断や措置の方針に関する協議や意見聴取等を行うために空家等対策協議会を開催していく。 (空家等の相談・苦情対応) ・市民等からの空き家の苦情や要望等に対して、現地調査や所有者調査等を実施し空き家の所有者等に適正管理の指導や撤去、活用のアドバイスを引き続き実施していく。 <p>令和2年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策計画に基づく空き家対策の具体的な施策の実施とともに、特定空家等に対する措置や対処の検討や手続の実施、空き家バンクの安定的な運営、空家等対策協議会の随時開催、空き家等の相談・苦情の適切な対応を実施し、空き家の適正管理と減少に向けて取り組んでいく。 						

内部評価結果	
施策の 評価	5 目標達成しています。

外部評価（2次評価）		
施策の 評価	5 目標達成しています。	<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な空き家の対策を引き続き徹底して行ってほしい。 ・空き家バンクについては定住促進のためにも活用すると良い。 ・空き家の利活用方法を検討すると良い。

基本目標	基本目標達成を支える基盤整備	数値目標	-	-
			-	-

施策No.	基本的方向	評価実施年度	2019	R01		
13	市民交流拠点の整備など市民の文化活動が活発に行える場を充実し、文化活動に参加する市民を拡大します。					
具体的な施策	<p>県立三崎高等学校跡地について、市民交流センターや図書館等の公共的機能と民間施設から成る「(仮称)市民交流拠点」として利活用を図るため、民間事業者と協働し段階的に整備します。</p> <p>このうち、平成27年度に民間事業者と事業契約を締結したA地区については、平成30年度の運営開始を目指し取り組みます。</p> <p>また、活用方法の決まっていないB地区については、具体的な土地利用、導入施設を決定し、整備方針を策定します。</p>	評価担当部課	政策部 (市長室) 市民部 (市民協働課)			
事業名	(仮称) 市民交流拠点整備事業 (仮称) 市民交流拠点整備事業 (道路) (仮称) 市民交流センター整備事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			H28	8,579	8,481	98.9%
			H29	134,334	73,774	54.9%
			H30	273,100	228,042	83.5%
			R01	58,606		
			R02			
			計	474,619	310,297	/

内部評価（1次評価）					
H30年度の主な取組と工夫（実績）	<p>(3) (仮称) 市民交流センター整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、平成31年3月の開設を目指していたが計画の変更となった。そのため、本年度は内装工事等を設計するための「(仮称) 三浦市民交流センター建物内部図面作成等業務委託」を発注し準備を進めた。また、市民活動団体に対し、利用促進のための説明会を開催するとともに、条例を制定し、指定管理者を指定した。 <p>《参考：令和3年に評価実施》</p> <p>(1) (仮称) 市民交流拠点整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立三崎高等学校跡地について、官民協働による(仮称)市民交流拠点の実現に向け、A地区施設(市民交流センター・商業施設)の整備に係る事業者や関係機関との協議を行った。 ・また、繰越事業としてB地区内一部エリアの造成工事を実施するとともに、(仮称)市民交流拠点及び近接する小網代の森への来訪者のための駐車場整備工事を実施した。 ・平成30年5月18日に採択された国交省の地域プラットフォーム形成支援を活用し、三浦市の課題である①城山地区②二町谷地区③三崎高校跡地の3地区の利活用について、地域における産官学で構成する地域プラットフォームを開催し意見を交わした。 ・3地区の検討については、各地区の動向が他の地区にも関係するため、B地区が将来の市役所移転候補地であることを踏まえ、現在市役所のある城山地区の利活用を中心に検討を行った。 <p>(2) (仮称) 市民交流拠点整備事業(道路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)市民交流拠点の利活用を図るため、円滑かつ安全に交通を処理すること、また、将来のB地区整備のための工事車両動線の確保を目的として、B地区内道路の一部区間の新設整備及び国道改良工事を実施した。 				
	構成事業の平成30年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	(仮称) 市民交流拠点整備事業	A地区施設(市民交流センター・商業施設)の供用開始: 0件 B地区内の駐車スペースの詳細設計: 0件 B地区の土地造成: 1件	2	(仮称) 市民交流拠点整備事業(道路)	B地区内道路の一部区間の整備及び国道交差点の改良: 1件
3	(仮称) 市民交流センター整備事業	内装等工事: 0件 団体への説明会の実施: 1回 三浦市民交流センター条例の制定: 1件	4		
5			6		

K P I の進捗状況						
年	K P I ①		K P I ②		K P I ③	
	平成30年度に（仮称）市民交流センターの運営開始	備考	平成32年度に三崎高校跡地B地区の整備計画策定	備考		
H24		- 実績値		- 実績値		
H25		- 実績値		- 実績値		
H26		- 実績値		- 実績値		
H27		- 実績値		- 実績値		
H28		- 実績値		- 実績値		
H29		- 実績値		- 実績値		
H30	未開始	実績値		- 実績値		
H30	開始	目標値		- 目標値		
R01		- 目標値		- 目標値		
R02		- 目標値	計画策定	目標値		
達成状況	×		-			
K P I の分析	平成30年度の業務開始を目指していたが、ベイシア三浦店の工事全体が遅れたため、内装工事の実施には至らなかったが、令和元年6月に供用を開始した。		※評価は令和3年に実施			
K P I 達成に向けた課題と改善策・手法	<p>(3) (仮称) 市民交流センター整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入、内装工事を発注する等開業の準備を進め、令和元年6月9日に市民交流センターの運営を開始した。以後は、指定管理者により、管理運営を継続していく。 <p>《参考：令和3年に評価実施》</p> <p>(1) (仮称) 市民交流拠点整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、地域プラットフォーム形成支援を活用した事業者に対するサウンディング調査を実施する。また、地元住民の意見を伺った上でB地区の造成工事詳細設計を実施する。 ・令和2年度以降は、調査結果を踏まえた整備計画を策定するとともに、B地区の造成工事に着手する。 					

内部評価結果	
施策 の 評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）			
施策 の 評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な 意見	・ 特になし。

No.	事業名称等	事業実施年度	評価実施年度	交付金種別
1	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業	平成30年度	令和元年度	地方創生推進交付金
2	みうら・みさき海の駅“うらり”交流拠点整備事業	平成29年度	令和元年度	地方創生拠点整備交付金

1 事業計画概要	
<p>(1) 平成29年度～平成31年度に地方創生推進交付金を活用して三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業（三浦半島4市1町広域連携による事業）を行うもの。</p> <p>県では、市町との緊密な連携の下で、地域が一体となつて、それぞれの事業に取り組む「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を策定し、「観光」と「暮らし」に焦点を当てて、「海」、「食」、「地域」、「働く」、「住む」の5つの魅力（＝政策目標）を最大化し、各政策を連携して機能させることによって、交流人口を増加させ、地域の賑わいをつくり、魅力的な地域とすることで、この地域で働き（仕事）、地域の中で生活する生きがいを創出し、定住人口を増加させ、人口減少に歯止めをかけることを目指している。</p> <p>本プロジェクトを推進するにあたり、三浦半島は、東京、横浜などの大都市に近い割には、海あり、山あり、歴史ありという他の地域にはない優位性を持っている。こうした優位性を地域内外に上手く訴求できれば、人口減少、高齢化、地場産業の衰退という事象に対してテコ入れが図れるのではないかと、それぞれが展開している対策（空家対策、子育て支援、企業誘致等）の地域間連携、事業継続性には疑問がある。</p>	<p>そこで、三浦半島の優位性を半島全体のイメージとして、プロモーションし、かつ、県・市町の様々な施策を訴求対象別の施策としてまとめあげ、事業効果を最大化する「司令塔」として三浦半島地域連携DMOを設立する。</p> <p>三浦半島地域連携DMOは、半島全域の観光プロモーションやマーケティングと戦略推進などによる交流人口の増加を進める。</p> <p>さらに三浦半島での充実したライフスタイル等の情報について拠点を整備して発信することにより、移住促進による人口減少の歯止めを図る。</p> <p>これらの取組みを支えるものとして、基盤づくりや地域資源の磨き上げ及び地域課題への対応を市町が行うことにより、民間主導による地域経済の循環を生み出す先導的なモデルづくりを進めるものである。</p> <p>(2) 平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用してみうら・みさき海の駅“うらり”交流拠点整備事業（三浦市単独事業）を行うもの。</p> <p>ア ウッドデッキの改修 イ うらりマルシェ「さかな館」の自動ドア化</p>

2 三浦市の構成事業平成30年度実績（小事業ごとの決算額、主な取組と工夫、主な成果）			
小事業名	決算額 (千円)	主な取組と工夫	主な成果
1	5,011	1 観光解説板整備事業 ・観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長を図るため、平成29年度に実施した基礎調査による観光客のニーズ・回遊実態・観光に関するサインの利用状況等の結果に基づき、「ぐるっと三浦・まちなかサインータルプラン」を策定した。	ぐるっと三浦・まちなかサインータルプランの策定：1件
	1,000	2 ウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会事業 ・横須賀市津久井浜海岸で開催されるウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会の実行委員会に参画し、横須賀市津久井浜海岸や三浦海岸エリアをウインドサーフィンをはじめとするマリンスポーツのスポットとして世界中に発信し、さらなる来遊客の増加を図った。	大会開催：1回 来場者：49,482人
2	27,284	・県内外にみうら・みさき海の駅“うらり”の知名度を向上させるため、海の駅フェスタをはじめ海を活かしたイベントやうらりマルシェを通じて三浦特産の農水産物をPRするイベントを開催してうらりの魅力を発信した。 ・平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用して改修工事を行った「うらり2階」のウッドデッキは、常設のバーベキューコーナーや隣接する交流広場と一体化したステージイベントの会場として活用された。	第4回海の駅フェスタの開催：1回 船上釣り教室の開催：1回 大晦日サンセットクルーズの開催：1回 元旦初日の出クルーズの開催：1回 みうら・みさき海の駅PRイベント：4回 うらりマルシェ農水産物対外PRイベント：8回
3	4,485	・水産物の輸出に関する普及啓発のための地元事業者向けセミナー1回を開催したほか、三崎漁港の水産物を取り扱う事業者に対して海外展開の足がかりとなる国外の見本市への出展等の支援4件を実施した。 ・国内開催の国際見本市「ジャパンインターナショナルシーフードショー」に三崎漁港輸出促進協議会として出展し、冷凍マグロ専用の高度衛生管理された三浦市低温卸売市場のPRを行うとともに、取扱いの中心である三崎マグロや三崎漁港のハマチ、タイなどの蓄養殖魚やキンメダイ等の水産物や水産加工品のPRを行った。 ・三浦市内の水産関係の輸出動向は、協議会で把握している輸出に取り組む事業者からの聞き取りでは、平成27年度当時と比較して1.7倍程度の増加になっていると伺っている。	協議会による出展：1回 事業者の海外出展等への支援：4件

4	浜の活力推進事業(先行型活用事業関連)	2,271	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業収入向上のため魚価の向上やコスト削減など具体的な取組を検討し、「浜の活力再生プラン」の推進に資する磯焼け対策や藻場回復事業等の取組を支援した。 	磯焼け対策・藻場等回復事業等への支援：5件
5	トライアルステイ・リノベーションまちづくり事業	12,058	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアルステイを平成30年8月から平成31年1月にかけて実施し、29組が参加した。 ・平成30年度は、市内に自社物件を多く持つ不動産事業者と連携したことにより、条件の良いトライアルステイ物件を確保することができた。 ・前年度より物件と期間を増やしたため、参加者数が増加した。(H29：18組→H30：29組) ・これまでの参加者からの要望もあり、開催期間に夏の季節を含め、参加者に好評だった。 ・三浦市のエリアとしての魅力を高めるために、遊休化した公共施設の活用戦略推進業務を委託事業により行った。 ・ふるさと回帰支援センター（東京有楽町）において初めて三浦市単独で移住セミナーを開催した。その他、神奈川県主催の移住セミナーに3回参加し、三浦市内への移住をアピールした。 ①9月28日(金)26組 ②11月9日(金)18組 ③12月22日(土)13組※市単独開催 ④3月15日(金)27組 ・ハローワーク横須賀と連携し、平成31年2月に「みうらで働こう！面接・相談会」を開催し、移住希望者向けのバスツアーを行った（バスツアー参加者10組）。また、平成29年度から引き続きハローワーク横須賀と連携して移住者受入連携企業の登録を行い、移住希望者のうち三浦市内での就職を希望する方に案内した。 ・移住相談窓口、移住セミナー及びバスツアーにおける移住相談に対応した（計122件）。 	<p>トライアルステイにより移住した世帯の数：2世帯</p> <p>リノベーション案件の発掘：0件</p> <p>移住相談窓口での相談件数：122件</p>
6	(仮称)未病改善事業	2,468	<p>講師を招いて勉強会を開催し市民210名の参加を得て、特に食生活の改善が及ぼす未病改善効果について勉強した。また、市職員が地域に出張して健康相談や教育事業を行うための健康測定機器等を購入して、年間15回地域に出向いた。</p> <p>神奈川県が主催する未病サミットにも参加し、他の自治体や企業等との情報交換の機会を得た。</p>	出張型健康相談15回開催、未病を改善する勉強会1回開催（210名）ヘルシーメニュー配布
	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業	54,577	うち、「地方創生推進交付金」27,288千円	

3 KPIの分析						
交付金KPI① <※第1分科会>			交付金KPI② <※第1分科会>			
KPI名称	三浦半島4市1町における入込観光客数	分析 <三浦半島4市1町> 平成30年の入込観光客数は、県において未公表のため、半島全体での入込観光客数は未確定である。 <三浦市> 三浦市のH30入込観光客数は約637万人である。 前年と比べ海水浴客を中心に増加傾向となり、市全体で約6万人の増加となった。 また、市が関与して魅力あるイベントを継続実施することにより、入込観光客数全体の約20%の集客を確保している。 なお、市の総合計画で定めた目標（637万1千人）には100人届かなかった。	KPI名称	各種イベント参加者数	分析 <三浦半島4市1町> 実績の内訳は次のとおりであり、目標（5.6万人）を達成した。 三浦市：65,463人(16事業) 横須賀市：50,151人(3事業) 逗子市：18,218人(4事業) 鎌倉市：4,005人(3事業) 葉山町：2,725人(2事業) 三観協：318人(4事業) <三浦市> 三浦市は、下記事業の参加者数が1万人を超えるなど、16事業で約6.5万人の参加者となり、目標達成に寄与した。 うらりマルシェ秋の感謝祭（16,000人） うらりマルシェ春の感謝祭（14,000人） 京急川崎ステーションバル2018出店（10,000人）	
目標(H30)	3,930 万人		目標(H30)	5.6 万人		
実績(半島)	未確定 万人		実績(半島)	14.1 万人		
実績(市)	637.09 万人		実績(市)	6.5 万人		
交付金KPI③ <※第2分科会>			交付金KPI④			
KPI名称	三浦半島4市1町における社会増減	分析 <三浦半島4市1町> 実績の内訳は次のとおりであり、目標（△380人）を達成しなかった。 三浦市：△223人 横須賀市：△1,352人 鎌倉市：879人 逗子市：△40人 葉山町：106人 <三浦市> 三浦市は平成27年△185人、平成28年△298人、平成29年△299人、平成30年△223人と推移している。 三浦市の社会増減を基準年である平成27年と比べると、転入は60人減（1,142人→1,082人）、転出は22人減（1,327人→1,305人）となっており、転入の減少が大きくなっている。	KPI名称		分析	
目標(H30)	△ 380 人		目標(H30)			
実績(半島)	△ 630 人		実績(半島)			
実績(市)	△ 223 人		実績(市)			

4 三浦市の構成事業の課題と今後の改善策・手法	
小事業名	課題と今後の改善策・手法
1 回遊性向上のための環境整備事業	<p>入込観光客数及び観光客消費額の増加のため、継続して効果的な情報発信と滞在時間の延長に向けた取組を実施する。</p> <p>1 観光解説板整備事業 ・平成30年度に策定した「ぐるっと三浦・まちなかサイントータルプラン」に基づき、観光案内板等を整備し、観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長を図る。</p> <p>2 ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会 ・三浦海岸の海水浴期間以外の利活用が課題であり、平成31年度は横須賀・三浦大会として開催され、三浦海岸地区においても「OTODAMA SEA STUDIO」の設置をはじめ、様々なイベントが行われた。また、この大会から海水浴が始まる6月下旬まで、「OTODAMA SEA STUDIO」が設置され、週末にライブが開催されるとともにスポーツイベントなども行われている。こうしたことをきっかけとして、今後も神奈川県とも連携しながら、三浦海岸の海浜利用を図っていく。</p>
2 海の駅‘うらり’セルブプロモーション事業	<p>・海の駅フェスタやうらり感謝祭などうらりで行うイベントによりみうら・みさき海の駅うらりの認知度が向上し、観光客数も増加してきたが、うらりから三崎地区へ観光客が回遊できるようなイベントを行い滞在時間の延長を図る。</p>
3 三崎漁港グローバルブランディング戦略実践事業	<p>・三崎ブランドの強化、価格形成力の向上を図るため、三崎漁港輸出促進協議会による国内開催の国際見本市への出展や海外出展等に取り組む事業者への支援を実施するほか、海外展開の実績のない事業者に向けたセミナーの開催等の普及啓発に取り組む。</p> <p>・海外出展等に取り組む事業者への支援については、多くの企業が参加する見本市に出展するものや新たに輸出に取組むもの、新たな品目の輸出に取組むものを優先して支援する。</p>
4 浜の活力推進事業(先行型活用事業関連)	<p>・令和元年度も磯焼け対策や藻場回復等の漁業者の取組について成果を検証し、さらなる漁業所得の向上を目指して県水産技術センターと連携して漁業者を支援する。</p>
5 トライアルステイ・リノベーションまちづくり事業	<p>令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に夏の季節を含めた開催時期としたことが好評だったため、令和元年度はさらに夏の時期を拡大して実施する。 ・トライアルステイ参加者など移住希望者が知りたい物件情報などを、事業者と連携して的確に案内できるように取り組む。 ・今後、地元事業者等が主体となって自立したトライアルステイ事業が行えることを目指し、事業のあり方について検討する。 ・課題である若年層への移住訴求、トライアルステイ参加を促すため、6月発行の移住雑誌に広告を掲載した。 ・移住等希望者へのニーズ対応やトライアルステイのフォローアップを行い移住・定住を増加させるため、「移住相談窓口」の運営や都内で開催される移住セミナーでの相談対応等に取り組む。 <p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住、2地域居住、さらには関係人口の増加を目指し、幅広く三浦に関心を持っていただくための取組みを検討する。
6 (仮称)未病改善事業	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県知事が提唱する「未病を改善する」施策について、平成29年度より三浦市でも市民の健康寿命を増進する取組として実施している。 ・病気の原因のうち、特に生活習慣に起因する疾病については、自覚症状がないまま進行していくことが多いため、生活習慣を変えなければという「気づき」の機会として、自己の健康状態を評価できるように健康測定機器を購入し、それを活用した相談機会の提供を継続していく。

5 三浦市の評価			
(1) 内部評価		(2) 外部評価	
事業の評価	2 地方創生に効果があった	<p>評価の理由</p> <p>KPI①は、半島での数値は未確定。三浦市の総合計画で定めた目標は未達成であるが、前年度より向上している。</p> <p>KPI②は、半島の目標達成に大きく寄与している。</p> <p>KPI③は、三浦市にとって課題である。前年より改善はしているが、さらなる改善が必要。なお、三浦半島4市1町としてはKPI②の1つ目標値を達成し、概ね成果が得られた。</p>	<p>事業の評価</p> <p>2 地方創生に効果があった</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦市はイベントを16事業もやっておりKPIへの貢献度は素晴らしい。今後も継続してイベントを行ってほしい。 ・ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会を、行政として国際大会をやるという認識をもう少し高めたほうが良い。 ・グローバルブランディング事業について、市内業者の海外展開を継続支援すると良い。 ・トライアルステイについて、就業体験を取り入れることなどを検討されたい。
	今後の方針	<p>事業の継続（計画通りの継続）</p> <p>※なお、課題への取組、改善は引き続き行っていく。</p>	